

Interactive Presentation Utility 2

ユーザーガイド

ご使用になる前にこのユーザーガイドをよくお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-SW636C/SW631C

VPL-SW635C/SW630C/SW620C

VPL-SW536C/SW526C

目次

Windows の場合	3
動作環境	3
特長	3
デスクトップモード	4
ホワイトボードモード	6
デュアルユーザー（デュアルペン）	7
キャリブレーション（自動／手動）	8
キャリブレーションデータ保存	9
ペン反応速度調整	9
ペン検出感度調整	9
管理ツール	10
描画ツールバー	13
サイドツールバー	27
リソースパネル	34
ビデオ会議	39
Mac の場合	40
動作環境	40
特長	40
デスクトップモード	41
ホワイトボードモード	42
デュアルユーザー（デュアルペン）	43
キャリブレーション（自動／手動）	44
キャリブレーションデータ保存	45
ペン反応速度調整	45
ペン検出感度調整	45
管理ツール	46
描画ツールバー	48
サイドツールバー	59
リソースパネル	64

Windows の場合

動作環境

- ・ CPU : Celeron 2.1GHz 相当以上
 - ・ メモリー : 256MB 以上 (512MB を推奨)
 - ・ ハードディスクの空き容量 : 1GB 以上
 - ・ 対応 OS :
Windows XP / Vista /
Windows 7¹ / Windows 8¹ /
Windows 10¹
- *1: 32 ビット版および 64 ビット版

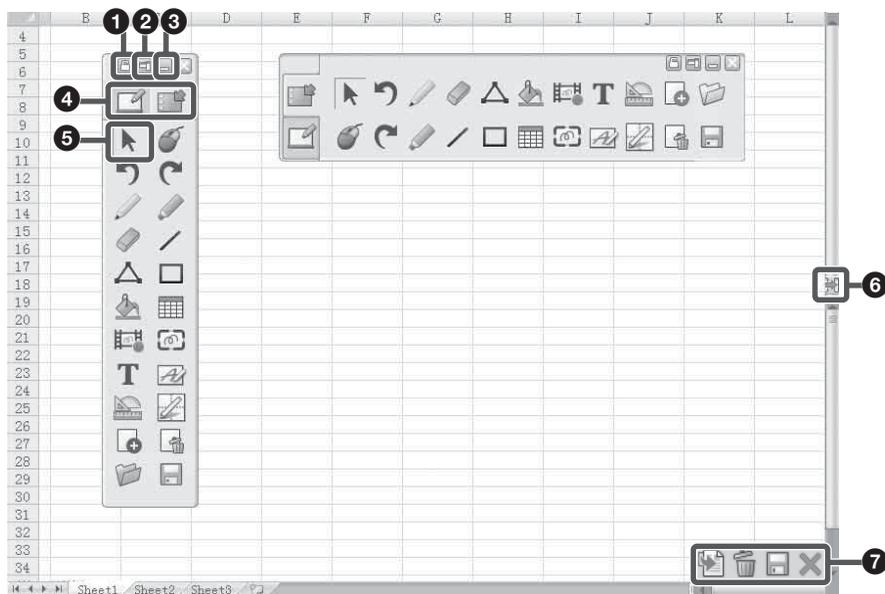
ご注意

- ・ プロジェクターを接続していない状態のとき、このソフトウェアの使用制限回数は 30 回です。プロジェクターを接続すると、制限回数は 30 回にリセットされます。
- ・ 拡張ディスプレイモードでは、キャリブレーションを行うことができません。
- ・ 本ソフトウェアを使用する場合には、DPI (Dots Per Inch) の設定を 100% にしてください。100% 以外に設定している場合、正しく表示されないことがあります。

特長

- ・ キャリブレーション (自動)
- ・ デュアルユーザー (デュアルペン)
- ・ 手書き文字認識
- ・ スクリーンキャプチャー (全画面 / 部分画面) とスクリーン録画
- ・ オブジェクトの描画編集
- ・ ホッピングツール
- ・ 調整可能な浮動ツールバー
- ・ 多彩な教育ツール
(2D と 3D の図形、定規、グラフ、数学の関数)
- ・ 強化されたサイドツールバー
- ・ 教材プログラム作成パネル

デスクトップモード



① ロック／ロック解除

② 表示切り替えモード

浮動ツールバーの縦／横表示を切り替えます。

③ 最小化

浮動ツールバーを最小化します。

④ ホワイトボード／デスクトップタブ

タブをクリックして、ホワイトボードモードとデスクトップモードを切り替えます。

⑤ Windows の操作

コメントモード以外の時は、マウスを使って通常のパソコン操作を行うことができます。コメントモードでは、浮動ツールバーのアイコンをクリックして通常のパソコン操作を行うこともできます。

⑥ ホッピングツール

浮動ツールバーの位置を切り替える

浮動ツールバーがどこにあっても、位置を切り替える矢印が反対側に表示されます。この矢印をクリックすると、浮動ツールバーを反対側に移動します。この機能によって、大画面でも浮動ツールバーに簡単にアクセスできます。

浮動ツールバーをドッキングする

浮動ツールバーをスクリーンのいずれかの端に移動すると、自動的に非表示になります。浮動ツールバーを再表示するには、浮動ツールバーをドッキングした端にカーソルを移動するか、またはアイコンをクリックします。

7 MS アプリにコメントを挿入する

Office ファイルに挿入／クリア／保存／終了の操作ができます。

Office ファイルに挿入

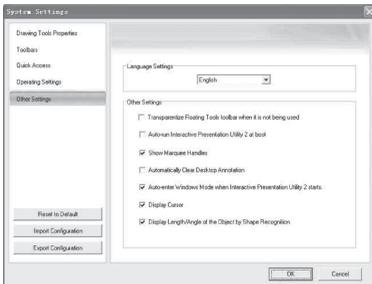
Word、Excel または PowerPoint のドキュメントを開いてコメントを直接書き込んだ場合は、右下のアイコンをクリックしてコメントを元の形で保存できます。Word / PowerPoint / Excel (2003 ~ 2010) は、組込みコメントに対応しています。

クリア

スクリーン右下のアイコンをクリックして、Interactive Presentation Utility 2 で作成したすべてのコメントを削除します。

コメントの自動クリア

Interactive Presentation Utility 2 で作成したすべてのコメントは、別の画面に切り替えたり、終了したりすると自動的に削除されます。この機能を有効にするには、「システム設定」から「その他」を選び、「デスクトップ注釈を自動的にクリアする」を選択します。初期設定では、この機能が有効に設定されています。



保存

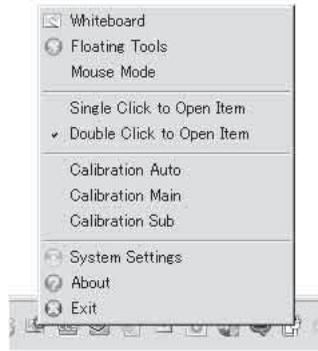
スクリーン右下のアイコンをクリックし、現在の表示画面をキャプチャーしてホワイトボードのページにコピーします。すべてのコメントは後で編集することができます。

Office ファイルの前または次のページに移動する

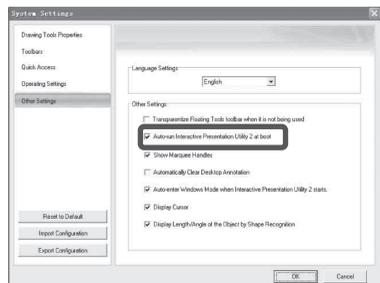
浮動ツールバーの  または  をクリックすると、Office ファイルの前または次のページに移動できます。

マウスモード

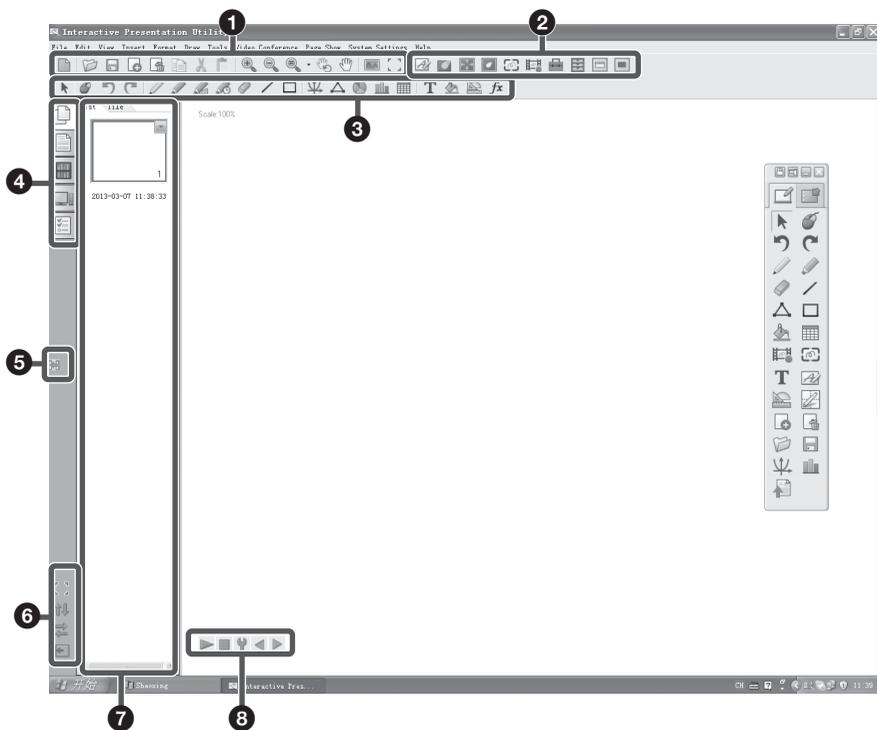
「マウスモード」を選択することで、インタラクティブペンデバイスのマウス機能のみが有効となり、ユーザーインターフェースが制限されます。マウス機能のみで教育用 PC ソフトまたは PC アプリケーションを使用したい場合に便利です。タスクバーの Interactive Presentation Utility 2 のアイコンをクリックしてポップアップメニューを表示し、その中の「マウスモード」を選択します。



PC 起動と同時にマウス機能を有効にしたい場合は、「システム設定」から「その他」を選び、「PC 起動時に自動的に Interactive Presentation Utility 2 を起動する」を選択します。



ホワイトボードモード



- ① コモンツールバー
- ② サイドツールバー
- ③ 描画ツールバー
- ④ リソースパネル
- ⑤ ホッピングツール（4 ページ）
- ⑥ フルスクリーン／ツールバーの移動（ツールバーを上下に移動する）／リソースパネルの移動（リソースパネルを移動する）／隠す
- ⑦ プレビュー
- ⑧ コメントの記録（操作をもう一度みる）
再生／停止／設定／前のページ／次のページ

デュアルユーザー（デュアルペン）

メインペンツールバー（浮動ツールバー）



- ・メインペンツールバーは Interactive Presentation Utility 2 を起動したときに表示されます。
- ・カスタマイズする場合は、ホワイトボードモードで「システム設定」>「ツールバー」>「浮動ツールバー」をクリックします。
- ・起動していない機能は、デスクトップモードでは灰色で表示されません。
- ・ をクリックすると、浮動ツールバーの位置が移動します。

ご注意

メインペン専用です。

サブペンツールバー



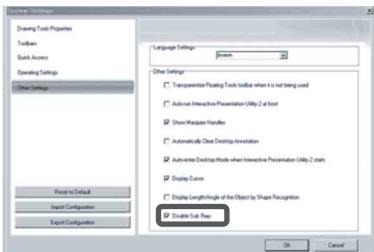
- ・サブペンのボタンを押すと、サブペンツールバーが表示されます。

ご注意

- ・サブペン専用です。
- ・サブペンツールバーはカスタマイズできません。

サブペンを無効にする

「システム設定」から「その他」を選び、「Disable sub pen」を選択すると、メインペンのみを有効にできます。



キャリブレーション (自動/手動)

キャリブレーションは、ペン（メイン、サブ）で指した点と、プロジェクター画面上のカーソルがある点の位置をそろえます。

「キャリブレーション (自動)」では、キャリブレーションを自動的に実行できます。

メインペンのツールバー



- ① キャリブレーション (自動)
- ② キャリブレーション (メイン)
- ③ キャリブレーション (サブ)
- ④ キャリブレーションデータ保存

「キャリブレーション」をクリックし、「キャリブレーション (自動)」を選びます。キャリブレーションが自動的に開始されます。

ご注意

キャリブレーションの実行中は、以下の注意事項を守ってください。

- ・ プロジェクター本体の受光窓とスクリーンの間に物などを置かないでください。
- ・ プロジェクターやスクリーンを動かさないでください。

キャリブレーション (自動) が正しく動作しないときは、以下の内容に従って対処してください。

- ・ 強い光や外光がスクリーンに直接当たらないようにしてください。
- ・ 周囲を少し暗くした状態で、キャリブレーション (自動) を実行してください。
- ・ 周囲を少し暗くした状態でもキャリブレーション (自動) が正しく動作しない場合、「キャリブレーション (メイン)」 / 「キャリブレーション (サブ)」をクリックし、手動で調整してください。
- ・ 白色ではないスクリーンを使用した場合、キャリブレーション (自動) が実行できないおそれがあります。

キャリブレーションデータ保存



複数の設置条件に対応したキャリブレーションデータを保存することができます。該当するデータを取り出すことで目的の設置条件でインタラクティブ機能を使用することができます。



① 保存する（名前を付ける／上書きする）

 ボタンを押すとキャリブレーションデータのリストが表示されます。Add ボタンを押すと現在使用しているキャリブレーションデータの名称を設定し、保存することができます。保存されたデータはリストの中に追加されます。

② 保存データを指定して使用する

リストから必要なキャリブレーションデータを選択し、OK ボタンを押すと適用されます。

③ 保存データを指定して削除する

不要なキャリブレーションデータをリストから選択し、Delete ボタンを押すと削除されます。

ペン反応速度調整

インタラクティブペンの反応速度の調整ができます。描画線の振動が気になる場合は、設定を「遅い」方に調整してください。ただし設定を「遅い」にした場合、速い描画動作への追従性が低下します。「Auto」に設定した場合、描画動作のスピードにあわせて、追従性を自動的に調整します。



ペン検出感度調整

インタラクティブペンを使用するときには部屋が明るすぎる場合、ペンの位置が検知できないため、誤動作する可能性があります。この機能により、ペン検出感度を調整し、システムをそのときの部屋の明るさに最適化します。

インタラクティブペンを使用中は、下記の環境では、ペンが描けなくなったり、線が途切れるなどの症状が発生することがあります。その場合、本機能ボタンを押すと、症状が改善します。

- ・ 明るい照明を使っている、または太陽光が射し込んでおり、環境全体が明るい場合。
- ・ 明るい照明、または太陽光がスクリーンに直接照射している場合。

ご注意

調整中に画面全体が黒くなりますが、操作しないでしばらくお待ちください。

ファイル管理

新規作成

新しいファイルを作成します。

開く

.cdf、.cdp、.iwb、.pdf、.doc、.ppt、.xls、.docx、.pptx、または.xlsxの拡張子を持つファイルを開くことができます。

閉じる

メニューバーで「ファイル」をクリックし、「閉じる」を選択して、現在のファイルを閉じます。

保存／名前を付けて保存

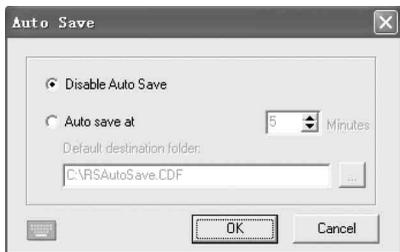
.bmp、.emf、.wmf、.iwb、.pdf、.cdp、.jpg、.html、.gif、.png、.tif、.doc、.ppt、.xls、.docx、.xlsx、.pptx、.cdfを含む任意の書式で、現在のファイルを保存できます。現在の時刻でファイル名が自動的に付けられます。

テンプレートとして保存

現在のファイルのレイアウトをこれから何度も使用する場合は、そのファイルをテンプレートとして保存しておく、必要ときに「テンプレート」タブから読み込むことができます。メニューバーで「ファイル」をクリックし、「テンプレートとして保存」を選択して、現在のファイルをテンプレートとして保存します。

自動保存

「自動保存」機能は、予期しない問題が起こった場合に、データの喪失を最小限におさえることができます。メニューバーで「ファイル」をクリックし、「自動保存」を選択して、自動保存機能について設定します。



印刷

Interactive Presentation Utility 2 で作成したファイルを印刷できます。「ファイル」をクリックし、「印刷設定」を選択してプリンターを設定します。次に「印刷」または「現在のページを印刷」をクリックして、必要なページを印刷します。

送信

「ファイル」をクリックし、「送信」を選択して現在のファイルを、.cdf、.pdf、または.pptフォーマットの添付ファイルとしてメールを送信します。

ページ管理

新しいページを追加

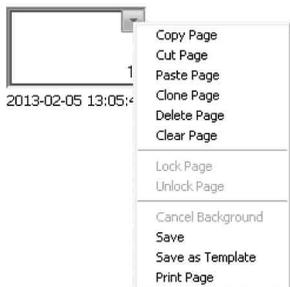
現在のページの後に、空白ページを挿入します。

ページを削除

現在のページを削除します。

コピー／切り取り／貼り付け

コピー／切り取り／貼り付けをしたいページのサムネイルを、「ページ」タブで選択します。

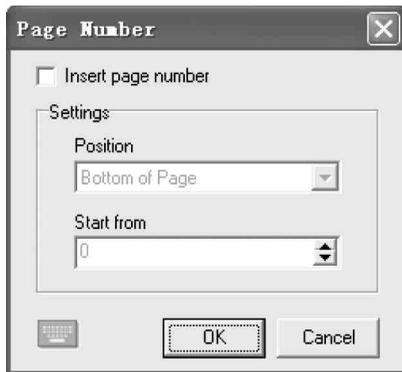


クローン

ページサムネイルでメニューの矢印をクリックして「ページのクローン」を選択するか、またはページサムネイルで右クリックして「ページのクローン」を選択します。クローンのページは、現在のページの後にすぐ表示されます。

ページ番号の挿入

メニューバーで「挿入」をクリックし、「ページ番号の挿入」を選択します。その後に表示される「ページ番号の挿入」ウィンドウで、ページ番号の挿入位置と開始ページの番号を設定できます。



ズーム

初期設定では、ホワイトボードの各ページが実際のサイズで表示されます。ズームツールを使って、ホワイトボードのページのサイズを拡大または縮小することもできます。

- 拡大 / 縮小

マウスポインタを拡大鏡にした後、ページをクリックすると拡大または縮小します。任意の位置でクリックして、四角形を描くようにドラッグすると、任意のエリアを拡大できます。

- ページ復元

ページを100%のサイズに戻します。ドロップダウンメニューで、50%～200%のサイズを選択することもできます。

- 画面サイズに合わせる

ページ全体を、画面のサイズに合わせます。

ページを移動

ホワイトボードのページは無限に拡張できます。ページを移動してスペースを広げたり、ページの任意の部分をクリックして表示することができます。

ページ位置をリセット

移動したページを、元の位置に戻します。

ページの背景を挿入する

単一色、グラデーション、グリッドパターン、またはイメージ (.jpg、.jpeg、.wmf、.emf、.png、.bmp) をページの背景として指定できます。



その他の管理ツール

エンベデッドウィンドウ

Office のドキュメント (.doc、.xls、.ppt、.docx、.xlsx、および .pptx) や Web サイトを、ホワイトボードのページに埋め込むことができます。エンベデッドウィンドウをホワイトボードのページに追加するには、メニューバーで「エンベデッドウィンドウ」を選択するか、ツールバーでアイコンをクリックします。次に、埋め込みたい位置にカーソルを移動し、クリックします。以下のようなウィンドウが表示されます。



ご注意

xls または .xlsx のファイルは、他の .xls または .xlsx のファイルが開いている間は埋め込みができません。

開く 	埋め込み対象のファイルまたは Web ページを再び開きます。
編集 	開いたファイルまたは Web ページを読み込みます。
再生 	開いたファイルを再生します。
停止 	再生を停止します。

保存 	現在のユーザーが修正を加えた Word または Excel のファイルを保存します。
拡大 	開いた Office のドキュメントまたは Web ページを拡大します。
縮小 	開いた Office のドキュメントまたは Web ページを縮小します。
最大化 	ウィンドウを最大化します。
元に戻す 	最大化したウィンドウを元に戻します。
閉じる 	エンベデッドウィンドウを閉じます。このアイコンは1つのオブジェクトとして、ホワイトボードのページに表示されます。

カスタムアプリケーション

外部のプログラムやファイルにすばやくアクセスできます。「カスタムアプリケーション」にアクセスするには、メニューバーで「カスタムアプリケーション」をクリックするか、またはツールバーでアイコンをクリックします。すると「アプリケーション」ツールバーが表示されます（初期設定では「Internet Explorer のショートカット」が表示されます）。



「アプリケーション」ツールバーでショートカットアイコンをクリックして、外部のプログラムやファイルを直接開くことができます。また、 をクリックしてアプリケーションを追加または削除できます。

描画ツールバー

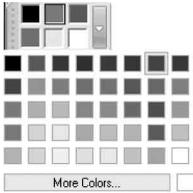
ペン類

「ペン類」は最もよく使用されるツールで、インタラクティブ画面にコメントを付けたり、文字を書いたり、図を描いたりできます。「ペン類」には、「鉛筆」、「筆」、「クリエイティブペン」、および「マジックペン」が含まれています。これらの属性は、必要に応じて調整できます。「マジックペン」で描いたオブジェクトは、8秒で消えます。また「マジックペン」は「ツール認識」の機能を持ち、「リヴィールスクリーン」、「スポットライト」、「拡大鏡」を開いたり、一定の形を描いてオブジェクトを削除することもできます。「ペン類」の属性は、次のようにしてカスタマイズできます。

色、幅、透明度

任意の色、幅、または透明度のボタンをダブルクリックするか、または各セクションのメニューの矢印をクリックして調整します。

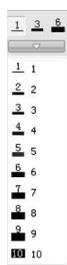
色



透明度



幅



線のスタイル



塗りつぶし (グラデーション)



線の種類

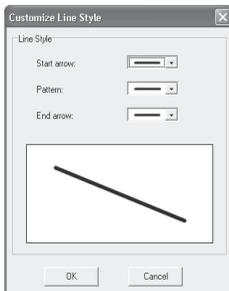
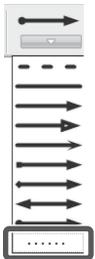


ロック

描画時に、「サブペン」ツールバーをスクリーン上で固定します。

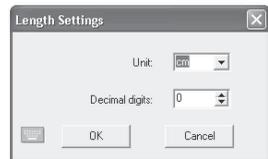
線の種類

「線」セクションのメニューの矢印をクリックし、希望する線のスタイルをリストから選択します。「線の種類」を「カスタム線」ウィンドウから選択することもできます。



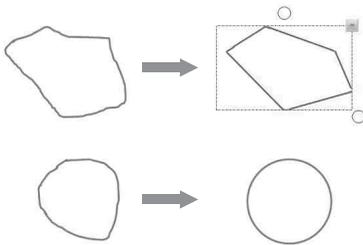
長さを表示

ホワイトボードのページに線を追加するときに、線の長さを表示できます。をクリックし、「長さを表示」を選択します。また単位や、小数点以下の桁数を、「長さ設定 ...」で設定することもできます。



図形識別

「鉛筆」ツール  も、「図形識別」機能を持っています。この機能を有効にすると、「鉛筆」ツールで描いたストロークが自動的に「線」、「円弧」、「円形」、「矩形」、「三角形」または「多角形」になり、また隣接する線が自動的に組み合わせられて多角形を形成します。「鉛筆」ツールのアイコンをクリックして、「属性」ツールバーを表示します。次に  をクリックして、「図形識別」機能を起動します。形を選択してそのポイントを表示し、形を変えるポイントをクリックしてドラッグします。

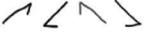


ツール認識

「マジックペン」ツール  にも、「ツール認識」機能が含まれています。この機能を有効にすると、「マジックペン」を使って「スポットライト」、「拡大鏡」、「リヴィールスクリーン」および「オブジェクト消去」を開くことができます。



	円形を描くと、「スポットライト」が開きます。
	四角を描くと、「拡大鏡」が開きます。
	左または右矢印を描くと、「リヴィールスクリーン（左右方向）」が開きます。
	上または下矢印を描くと、「リヴィールスクリーン（上下方向）」が開きます。

	斜め方向の矢印を描くと、「リヴィールスクリーン（すべての方向）」が開きます。
	落書きすると、そのオブジェクトが削除されます。

幾何図形

いろいろな種類の2Dと3Dの幾何図形が用意されています。「幾何図形」ツールの属性をカスタマイズできます。

幾何図形の形

「幾何図形」ツールの「属性」ツールバーには、初期設定で「矩形」、「三角形」および「円形」の3つの形のボタンが用意されています。その他の形を追加するには、お好みの形のボタンをダブルクリックするか、または「形」セクションのメニューの矢印をクリックします。



2Dの幾何図形

- Ellipsoid
- Semicircle
- Isosceles Triangle
- Right Triangle
- Parallelogram
- Rhombus
- Rectangle
- Trapezoid
- Right Trapezoid
- Pentagon
- Hexagon
- Pentakde
- Sector
- Arc
- Polygon

3Dの幾何図形

- Cuboid
- Tetrahedron
- Cylinder
- Ellipsoid
- Triangular Prism
- Octahedron
- Frustum of Prism
- Cone
- Frustum of Cone
- Dihedron



その他

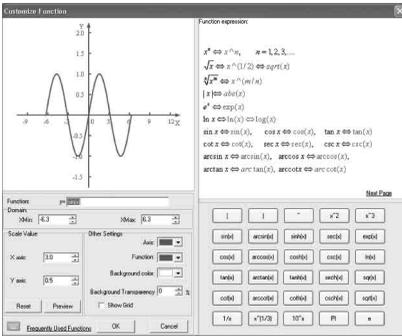
「属性」ツールバーの「設定」をクリックして、その他の設定を適用します。

関数 Σ

20種類以上の関数のグラフが用意されています。「関数」ツールをクリックして利用可能な関数グラフのうちの1つを選び、関数グラフを表示したいスクリーン上の場所でクリックします。関数曲線でクリックして関数曲線のみを選択するか、または座標系でクリックして関数グラフ全体を選択します。

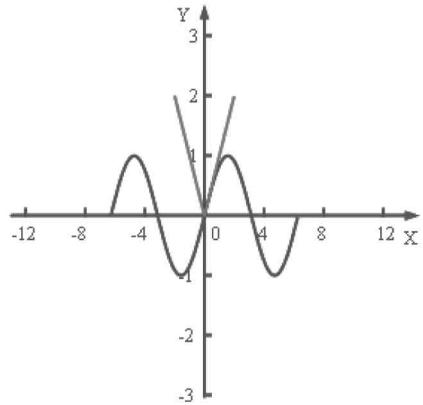
関数式

関数式をカスタマイズするには、アイコンをクリックして属性を表示します。メニューの矢印をクリックし、「カスタム...」を選択して、「カスタム関数」ウィンドウを表示します。「頻繁に使用された関数」をクリックします。関数式は右側に表示されます。「関数」、「定義域」、「目盛」、その他を定義できます。



共有座標系 Σ

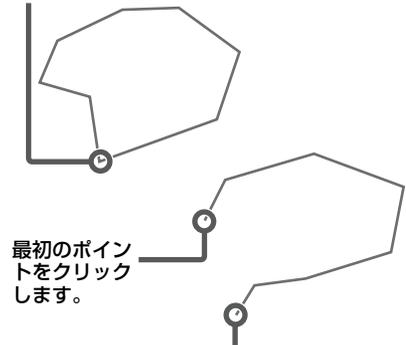
「属性」ツールバーの一番下のアイコンをクリックすると、すべての関数を1つの座標系で設定することができます。「共有座標系」がすでに選択されている場合は、もう一度クリックするとキャンセルできます。



ポイント ツール ポイント Δ

このツールで、「多角形」や「カギ線」を作成できます。多角形やカギ線を作成するには、そのアイコンをクリックし、多角形またはカギ線を作成する別のポイントをクリックします。最後のポイントをダブルクリックすると、多角形またはカギ線の作成が終了します。また最後のポイントに最初のポイントを重ねて、形を作ることができます。すべてのポイントは削除できます。ポイント ツール ポイントツールは、カスタマイズすることもできます。

最後のポイントを最初のポイントに重ねます。

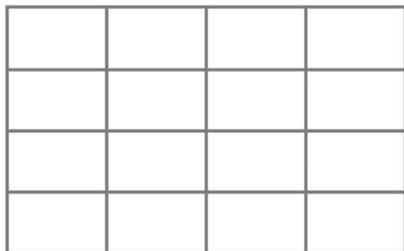


最初のポイントを
クリック
します。

最後のポイントをダブルクリックします。

表

表を作成するとき、「属性」ツールバーで、「枠線色」、「幅」、「透明度」、「行数」、「列数」を設定できます。次に、表を配置したいスクリーン上の場所をクリックし、お好みのサイズになるまでドラッグして、表を作成することができます。



行数と列数

行数と列数を1～20の範囲で選択できます。数値を直接入力するか、または矢印ボタンで数値を変更します。



表の操作



セルを選択すると、以下の操作ができるようになります：

- テキスト入力

セルをダブルクリックして、テキストをそのセルに挿入することもできます。

- 行挿入／列挿入

新しい行または列が、現在の行／列の隣に表示されます。

- 行削除／列削除

選択された行または列が削除されます。

- セル分割

セルを選択し、アイコンをクリックすると、「セル分割」ウィンドウが表示されます。セルを分割するための行数と列数を入力します。

- セル結合

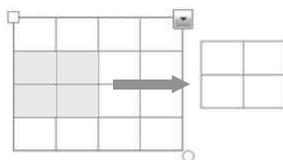
結合対象の複数のセルを選択します。

- 移動

表の左上隅のボックス  をクリックし、次に表をページの別の位置にドラッグします。

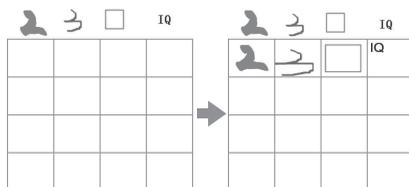
- 表の新規作成

複数のセルを選択してページの別の位置にドラッグすると、選択したセルとそのコンテンツを含む新しい表が作成されます。



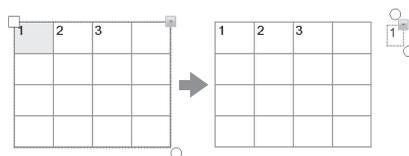
- セルにオブジェクトを追加する

対象のオブジェクトを選択し、表のセルにドラッグします。



- セルからオブジェクトを移動する

対象のオブジェクトを選択し、1つのセルから別のセルに、またはページの任意の場所にドラッグします。



塗りつぶし

任意の幾何図形を、「色」、「塗りつぶし (グラデーション)」、「塗りつぶし (斜線格子)」、または「塗りつぶし (図) (.jpg、.jpeg、.bmp、.png、.wmf、.emf) で塗りつぶすことができます。



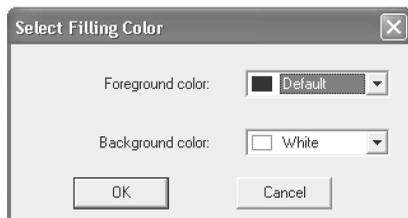
グラデーションのある塗りつぶし

6つのグラデーションが、初期設定で用意されています。他のグラデーションを使用するには、お好みのグラデーションの塗りつぶしボタンをダブルクリックするか、またはメニューの矢印をクリックして、「グラデーション編集」でグラデーションを設定します。新しいグラデーションを追加する場合は、グラデーションバーの下をクリックして、グラデーションの終了色を定義します。グラデーションの方向を定義することもできます。



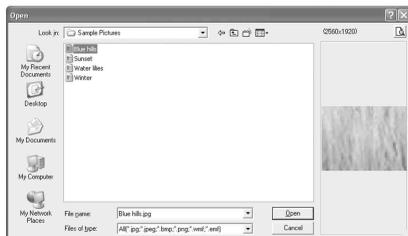
パターンによる塗りつぶし

6つのパターンが、初期設定で用意されています。他のパターンを用いるには、お好みのパターンの塗りつぶしボタンをダブルクリックするか、またはメニューの矢印をクリックして、前景色と背景色を設定します。



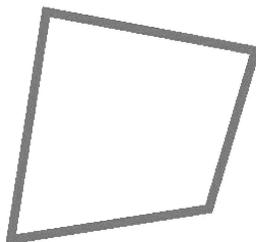
イメージによる塗りつぶし

イメージの塗りつぶしボタンをダブルクリックするか、またはメニューの矢印をクリックして、塗りつぶしに使うイメージを選択します。



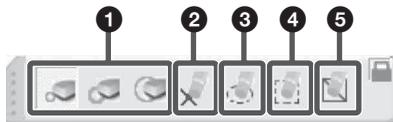
塗りつぶし効果を削除する

「属性」ツールバーの  をクリックし、幾何図形をクリックします。塗りつぶし効果は削除されます。



消しゴム

「丸形消しゴム (小)」、「丸形消しゴム (中)」、「丸形消しゴム (大)」、「オブジェクト消去」、「円形範囲消去」、「矩形範囲消去」、および「すべてを消去」を含む5つの消去方法が用意されています。



1 消しゴム (小/中/大)

2 オブジェクト消去

アイコンを選択し、オブジェクトをクリックして消去します。

3 円形範囲消去

アイコンを選択し、オブジェクト (複数可) を囲む円を描いて消去します。

4 矩形範囲消去

アイコンを選択し、オブジェクト (複数可) を囲む矩形をドラッグして消去します。

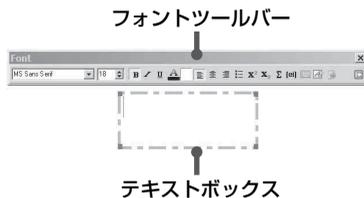
5 すべてを消去

アイコンを選択し、ページをクリックして、そのページのすべてのオブジェクトを消去します。

「幾何図形」または「ポイント ツール」で作成したオブジェクトは、「オブジェクト消去」または「すべてを消去」によってのみ消去できます。この場合、「円形範囲消去」や「矩形範囲消去」は使用できません。

テキスト T

アイコンを選択し、ページ内のテキストを開始したい位置でクリックします。「テキスト」ボックスと「フォント」ツールバーが表示されます。



文字を入力

「スクリーンキーボード」 または「手書き文字認識」 を使って、文字を入力できます。テキストを、.txt ファイルから「テキスト」ボックスにインポートすることもできます。

手書き文字認識

Interactive Presentation Utility 2 では、文字、数字、記号などの手書き文字を認識できます。「手書き文字認識」ツールバーの  をクリックして、認識のタイプを選択します。



テキストの書式変更

「フォント」、「太字」、「斜体」、「下線」、「色」、その他を含むテキストの書式を、必要に応じて「フォント」ツールバーで変更します。また  をクリックして、英語の文章に発音の注釈を書き加えることもできます。

ご注意

教室で中国語を教えている場合は、最初にインターフェース言語を「中国語」に変更する必要があります。同様に「テキスト」ツールを起動し、 をクリックして、中国語の文章に「発音 (ピンイン)」を書き込むことができます。しかし、この機能を有効にするには Microsoft Pinyin IME 2003 をインストールする必要があります。

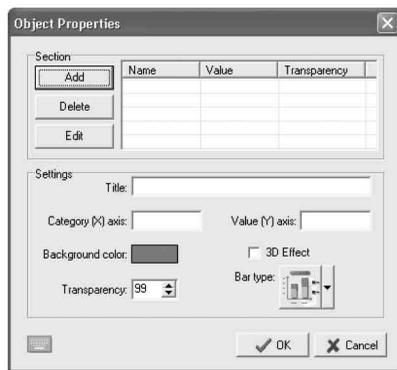
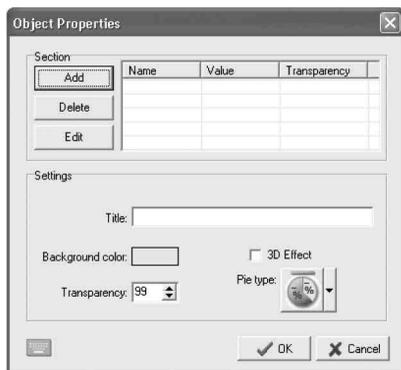
テキスト編集

選択したテキストを右クリックして、コピー、切り取り、貼り付け、削除、すべて選択、または元に戻す操作を行います。ペン先（メインのみ）を長押しするか、または  をクリックすると、右クリックの操作ができます。



円グラフとバーグラフ

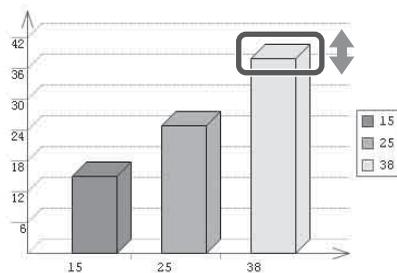
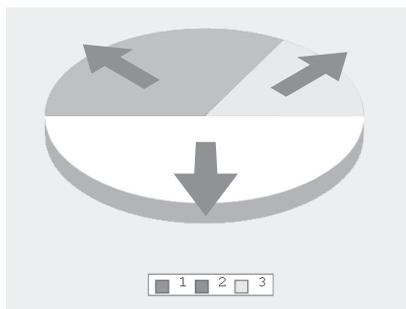
ボタンを選択し、円グラフまたはバーグラフを表示したい場所をスクリーン上でクリックします。



上記の設定ウィンドウで、グラフの「名前」、「値」、「透明度」を設定できます。その他の設定は、以下ようになります：

円グラフ：「タイトル」、「背景色」、「透明度」、「3D 効果表示」、および「円グラフタイプ」を設定できます。

バーグラフ：「タイトル」、「分類 (X) 軸」、「値 (Y) 軸」、「背景色」、「透明度」、「3D 効果表示」、および「棒グラフタイプ」を設定できます。



上記の設定ウィンドウで、以下の操作ができます。

円グラフ：各セクターのサイズを個別に調整し、「塗りつぶし」ツールを使って各セクターの色を設定できます。

バーグラフ：各バーのサイズを個別に直接調整し、「塗りつぶし」ツールを使って各バーの色を設定できます。

数式編集 fx

数式編集を使って、複雑な数学の数式や化学式をホワイトボードのページに追加することができます。ボタンを選択してページの任意の場所をクリックすると、「数式編集」ウィンドウが表示されます。

「数式編集」ウィンドウ



編集ボックス

数式を編集ボックス □ に入力します。

$$\sin (A + B) = \sin (A) \cdot \cos (B) + \sin (B) \cdot \cos (A)$$

ページ上の任意の場所をクリックすると、入力した数式が表示されます。

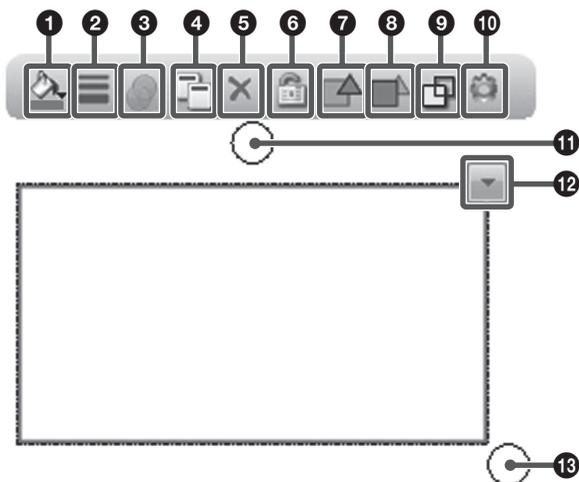
ご注意

Windows 7 では、「数式編集」で をクリックして「数式の認識」機能を有効にすると、手書きした数式を入力することができます。

オブジェクトの操作

マーキーハンドル

選択中のオブジェクトに応じて、よく使用される編集ツールがマーキーハンドルに表示されます。これらのツールを選んで、オブジェクトを編集できます。



- | | |
|-------------|-------------|
| ① 色 | ⑧ 背面へ移動 |
| ② 幅 | ⑨ 中実／中空 |
| ③ 透明度 | ⑩ 設定 |
| ④ クローン | ⑪ 回転 |
| ⑤ 削除 | ⑫ 右クリックメニュー |
| ⑥ ロック／ロック解除 | ⑬ 拡大率 |
| ⑦ 前面へ移動 | |

その他の機能

-  筆順表示
-   グループ化／グループ化解除
-  テキスト入力

右クリックメニュー

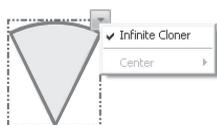
コピー、切り取り、貼り付け、クローン

ページ内の任意のオブジェクトをコピー、切り取り、またはクローンを作成でき、またそれを同じページまたは異なるページに貼り付けることができます。



無限クローン

1つ以上のオブジェクトを、何度でもコピーできます。



削除

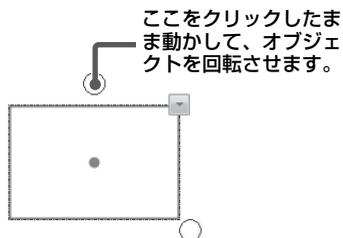
1つ以上の選択したオブジェクトを削除します。

全てを選択

ページ内のオブジェクトをすべて選択します。

オブジェクトの回転

オブジェクトを選択すると、そのオブジェクトの周囲に矩形が表示されます。また、矩形の上に回転ハンドルがあります。初期設定では、オブジェクトはその中心点の周りを回転します。中心点をドラッグして、別の基点を定義できます。

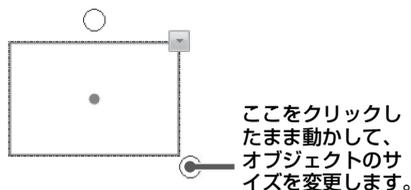


中心

オブジェクトの中心点を表示または非表示にできます。

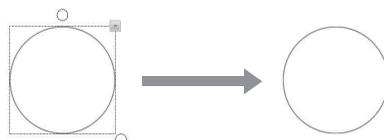
オブジェクトのズーム

1つ以上のオブジェクトを選択し、サイズ変更ハンドルをドラッグしてオブジェクトのサイズを変更できます。



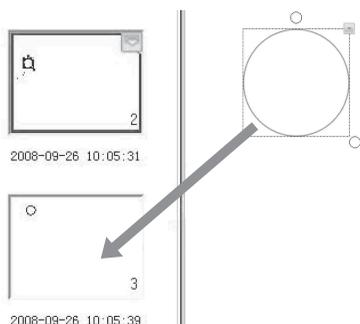
オブジェクトの移動

オブジェクトを同じページの別の位置に移動できます。オブジェクトを別のページにも移動できます。



オブジェクトを同じページの別の位置に移動するには、1つ以上のオブジェクトを選択し、そのページの移動先の位置にドラッグします。

オブジェクトを別のページに移動するには、1つ以上のオブジェクトを選択し、「ページ」タブの別のページのサムネイルにドラッグします。



オブジェクトのグループ化（グループ化解除）

複数のオブジェクトをグループ化して、1つのオブジェクトのように操作または編集できます。

ご注意

「数学関連ツール」、「関数ツール」、「円グラフ」、または「バークラフ」はグループ化できません。

オブジェクトの順序

オブジェクトが重なる場合、それらの配置を変更できます。「最前面へ移動」、「最背面へ移動」、「前面へ移動」、または「背面へ移動」を選択します。

オブジェクトの整列

選択した複数のオブジェクトの下側、上側、左側／右側、または中心で揃えることができます。

オブジェクトのレイアウト

「自動レイアウト」と「カスタムレイアウト」を利用できます。

オブジェクトの鏡面コピー

「左反射」、「右反射」、「上反射」、または「下反射」を選択することで、鏡面コピーしたオブジェクトをすばやく挿入できます。

オブジェクトの表示／非表示

オブジェクトの表示または非表示を選ぶことができます。

コメントの挿入

Interactive Presentation Utility 2 では、注釈やコメントをオブジェクトに追加できます。挿入したコメントは、再び編集したり削除したりできます。

オブジェクトの反転

オブジェクトを水平または垂直に反転できます。

背景の挿入

1つ以上の選択したオブジェクトを背景に挿入できます。背景に挿入したオブジェクトは、操作や編集ができません。

オブジェクトの保存

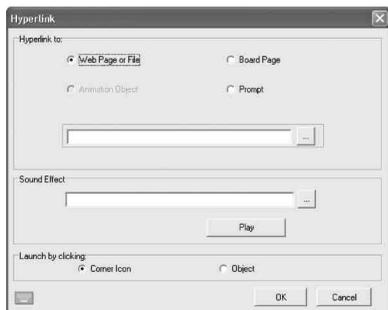
1つ以上のオブジェクトを、.bmp、.png、.gif、.jpg、.emf、.wmf、または.tif フォーマットのイメージファイルとして保存できます。

オブジェクトのロック

オブジェクトをロックして、変更、移動または回転ができないようにすることができます。オブジェクトはいつでもロック解除ができます。

オブジェクトへのハイパーリンクの追加

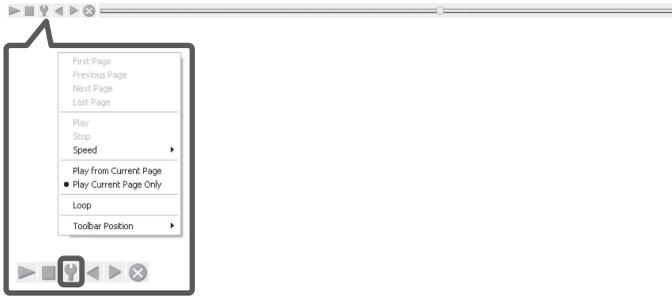
ホワイトボードのページの任意のオブジェクトを、Web ページまたはパソコンのファイルにハイパーリンクできます。選択したオブジェクトを右クリックし、「ハイパーリンク」を選択します。以下のような「ハイパーリンク」ウィンドウが表示されます：



オブジェクトを、ファイル、Web ページ、FTP、または Web サイトにハイパーリンクできます。ハイパーリンクの起動時に音響効果を加えたい場合は、「サウンド挿入」セクションでオーディオファイルを確認し、選択してください。「コーナーアイコン」をクリックするか、または「オブジェクト」自体をクリックすることでリンクを開くことができます。

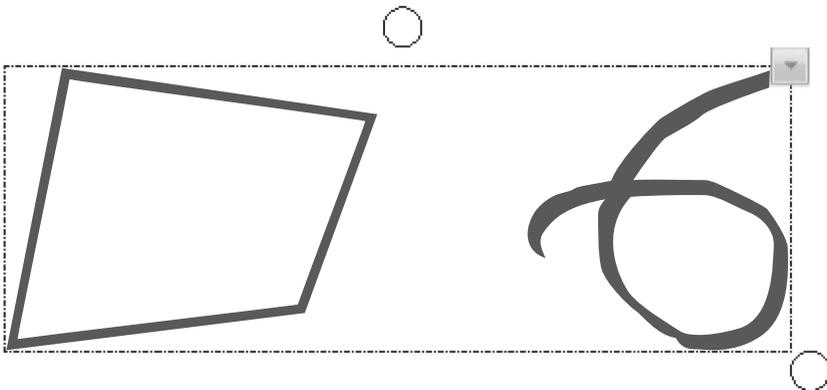
録画再生 (すべてのオブジェクト) ▶◀⏪⏩⏹

オブジェクトを作成または操作しているとき、Interactive Presentation Utility 2では、ユーザーの操作内容を自動的に記録して、いつでも再生することができます。



筆順表示

(1本のペンによる操作のみを記録できます)



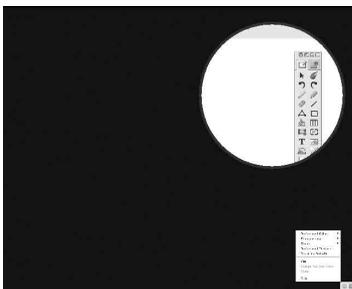
サイドツールバー

スクリーンツール

Interactive Presentation Utility 2には「スポットライト」、「リヴィールスクリーン」、「スクリーン矢印」、「ハイライト」、「ブラックスクリーン」を含む各種のスクリーンツールがあります。これらのツールは、「メニューバー」の「ツール」、「ツールバー」または「浮動ツールバー」からアクセスできます。

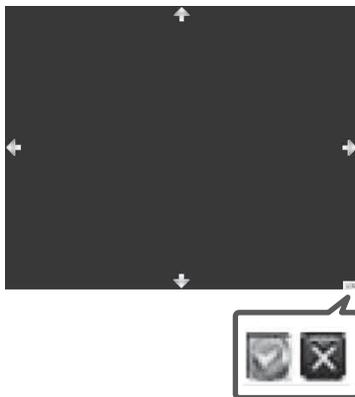
スポットライト

スポットライトの縁をドラッグして、ズームおよび移動できます。ハイライトされたエリアの下側のレイヤーを操作できます。スクリーン右下の  をクリックして、スポットライトの属性を調整できます。



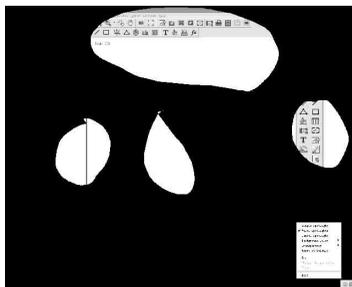
リヴィールスクリーン

「上下方向」、「左右方向」、「すべての方向」の3つのリヴィール方法が用意されています。カバーされていないエリアを操作できます。スクリーン右下の  をクリックして、「リヴィールスクリーン」機能の属性を調整できます。



ハイライト

スクリーンの右下をクリックして、「背景色」や「透明度」などの「ハイライト」の属性を調整できます。「シングルスポットライト」または「マルチスポットライト」を選択して、ひとつまたは複数のエリアをハイライトすることもできます。



テキストを音声化する

ボードページのテキストを、音声で読み取ることができます。「テキストを音声化する」ツールを使用するには、メニューバーで「テキストを音声化する」を選択するか、 をクリックします。



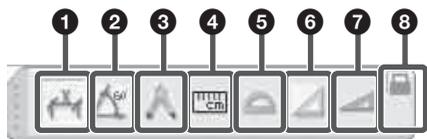
音声を読み取りたいテキストにカーソルを移動し、そのテキストをクリックします。テキストの音声読み取りが開始されます。初期設定では、英語または使用 OS と同じ言語でテキスト読み取りが行われます。上記の設定バーをクリックして、他の言語を選択することができます (PC にインストールされた OS に依存します)。読み取り速度  や音量  も調整できます。

ご注意

他の TTS の音声化データベースをインターネットからダウンロードし、インストールできます。インストールの後、インストールされた言語が「設定」 リストに追加されます。

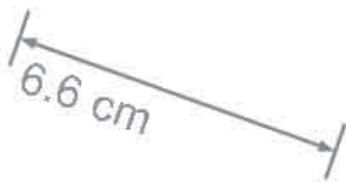
数学関連ツール

Interactive Presentation Utility 2 には、「寸法表記」、「角度表記」、「コンパス」、「定規」、「分度器」、「直角三角定規」、「直角三角定規 (30、60、90)」を含む各種の「数学関連ツール」が用意されています。これらの数学関連ツールは、「メニューバー」の「ツール」、「ツールバー」または「浮動ツールバー」から  を選択して、アクセスできます。



1 寸法表記

「寸法表記」を使って、2つのポイント間の距離をコメントとして入力できます。寸法表記をページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、寸法の始点を決めてクリックし、次にカーソルを別のポイントに移動してクリックします。2つのポイント間の長さが自動的に表示されます。

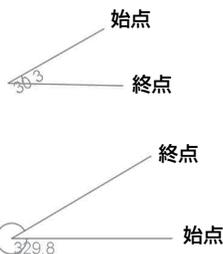


2 角度表記

「角度表記」ツールを使って角度を測定し、また角度を更新できます。角度表記をページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、頂点を決めてクリックし、次に角度の片側を決めてクリックし、カーソルを移動します。角度がページに表示されます。

ご注意

角度表記で表示された角度は、1番目の面を時計方向に回転させた2番目の面で作成されたものです。



3 コンパス

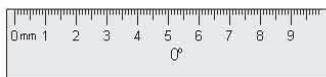
「コンパス」ツールを使って、円弧や扇形を描くことができます。コンパスを動かすには、コンパスの頂点または左足をクリックし、コンパスを保持したまま次の位置に動かします。半径を変えるには、コンパスの右足をクリックし、コンパスを保持したまま右または左に水平に動かします。半径が、コンパスに表示されます。円弧または扇形を描くには、コンパスの描画ツールをクリックして保持し、回転させます。色、透明度、小数桁数、単位 (ドロップダウンメニューには cm、mm、pix、

inchが含まれています)などの属性は、右クリックメニューで変更できます。単位は手動でも入力できます。



4 定規

「定規」を使ってオブジェクトを測定したり、任意のサイズ(初期設定では10 cmに設定されており、無限大に拡大できます)で線を描くことができます。定規をページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、定規の位置を決めてクリックします。定規がホワイトボードのページに表示されます。

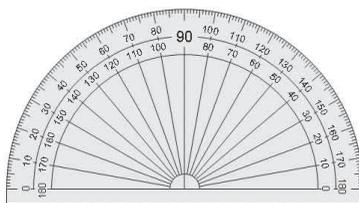


「線」ツールを使って、定規の目盛りに合わせて、選択した長さの直線を描くこともできます。定規を回転するとき、現在の回転角度が定規の中心に表示されます。

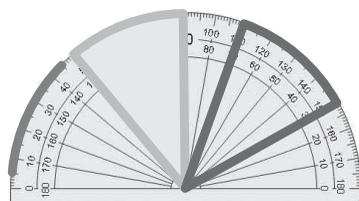


5 分度器

分度器をホワイトボードのページに追加できます。また分度器を使って角度を測定したり、選んだ角度の円弧を描くことができます。分度器をホワイトボードのページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、分度器の位置を決めてクリックします。分度器がそのページに表示されます。



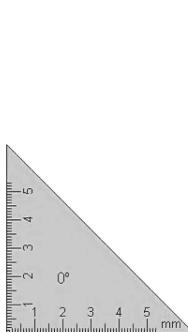
また右クリックメニューで「円弧」、「中空でない扇型」、または「中抜き扇形」を選び、「線」ツールを使って、分度器の目盛りに合わせて、選択した形を描くことができます。



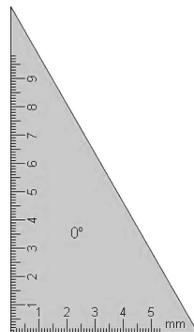
6 直角三角定規

7 直角三角定規 (30、60、90)

「直角三角定規」と「直角三角定規 (30、60、90)」の2つの「直角三角形」ツールが用意されています。「直角三角形」をホワイトボードのページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、直角三角形の位置を決めてクリックします。直角三角形がそのページに表示されます。



直角三角定規



直角三角定規 (30、60、90)

「線」ツールを使って、直角三角形の目盛りに合わせて、直線を描くことができます。直角三角形を回転するとき、現在の回転角度が直角三角形の中心に表示されます。

⑧ ロック／ロック解除

特殊ツール

Interactive Presentation Utility 2には、「電卓」、「拡大鏡」、「字幕」、「時計」、「スクリーンキーボード」、「レイヤー背景」、「ビデオキャプチャー」を含むいくつかの便利なツールがあります。

電卓

Interactive Presentation Utility 2は、OSの電卓を呼び出すことができます。

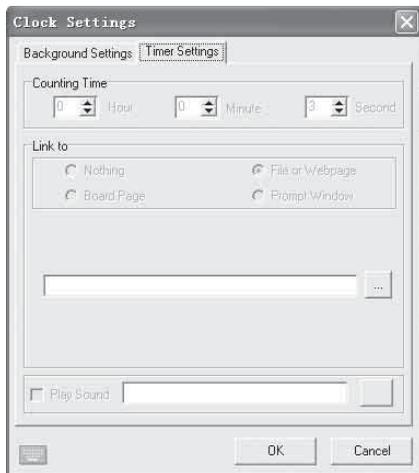
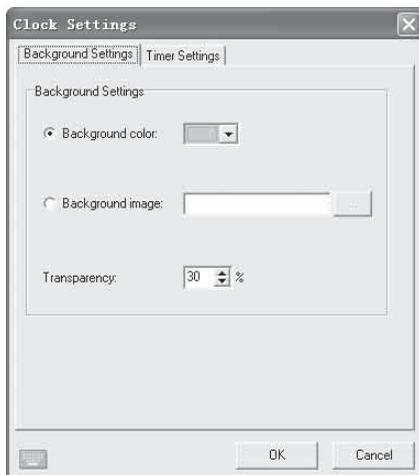
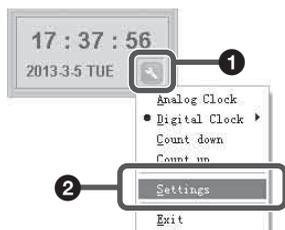
拡大鏡

「拡大鏡」で、スクリーンの各エリアを拡大できます。右クリックメニューで、形の拡大、拡大率、ウィンドウサイズなどの拡大鏡の「属性」を変更できます。

スクリーンキーボード

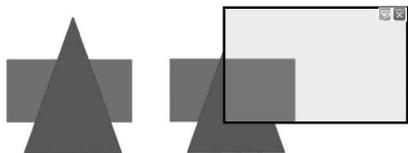
時計とタイマー

「時計」ツールで、時計やカウンターをスクリーンに表示できます。 をクリックして、「時計」をカスタマイズできます。

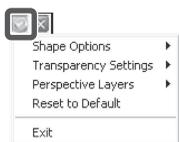


レイヤー背景

「レイヤー背景」を使用して、複数のオブジェクトレイヤーを背景に表示でき、また、複数のオブジェクトや画像をお好みの順番に重ねることができます。「レイヤー背景」を使用するには、それを重ね合わせたレイヤーに移動します。



初期設定では、1つの背景レイヤーが設定されていますが、ツールを右クリックするかまたは右上の  をクリックして、形、透明度、および背景レイヤーの数を設定できます。



ビデオキャプチャー

「ビデオキャプチャー」を使って、接続したカメラまたはDVのビデオを表示できます。またビデオをホワイトボードのページにキャプチャーできます。「ビデオキャプチャー」を使うには、「ビデオキャプチャー」ウィンドウで  をクリックします。接続されたカメラまたはDVのビデオが、ソフトウェアで表示されます。 をクリックして、ビデオの解像度を設定します。



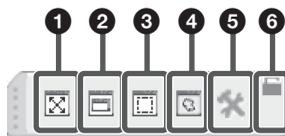
ご注意

複数のカメラやDVビデオを同時に1台のパソコンに接続している場合、ビデオソースを切り替えることができます。

また  をクリックして、キャプチャーしたビデオを現在のページまたは新しいページに挿入し、 をクリックしてキャプチャーを開始できます。

スクリーンキャプチャー

「スクリーンキャプチャー」機能を起動するには、「メニューバー」で「ツール」をクリックするか、「ツールバー」で  をクリックするか、または「浮動ツールバー」で  をクリックします。



① フルスクリーン

このアイコンをクリックすると、スクリーン全体をキャプチャーします。

② キャプチャー（ウィンドウ）

このアイコンをクリックし、キャプチャーしたいウィンドウの角をクリックします。

③ キャプチャー（矩形エリア）

このアイコンをクリックし、次にカーソルを押しながらドラッグしてキャプチャーしたい矩形エリアを定義します。

④ キャプチャー（自由選択）

このアイコンをクリックし、次にカーソルを押しながらドラッグしてキャプチャーしたいエリアを自由に定義します。

⑤ 設定

 をクリックして、キャプチャーしたスクリーンの挿入方法を選択することもできます。「現在のページに挿入」と「新しいページに挿入」が選択できます。



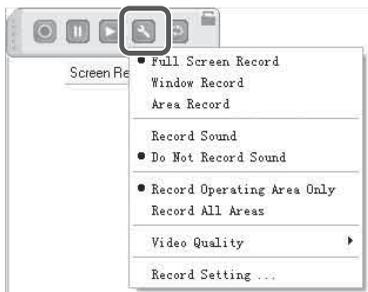
⑥ ロック／ロック解除

スクリーンの録画と再生

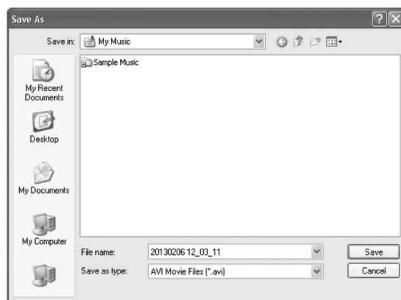
「スクリーン録画」機能を起動するには、「メニューバー」で「ツール」をクリックするか、「ツールバー」で  をクリックするか、または「浮動ツールバー」で  をクリックします。

スクリーン録画

スクリーンを録画するには、お好みの録画スタイルを「録画設定」から選択します。「ビデオ品質」も調整できます。動作ウィンドウのみの録画、または全体のスクリーン映像の録画を選ぶことができます。パソコンにマイクを接続して、録音することもできます。



 をクリックして、「名前を付けて保存」ウィンドウを開きます。



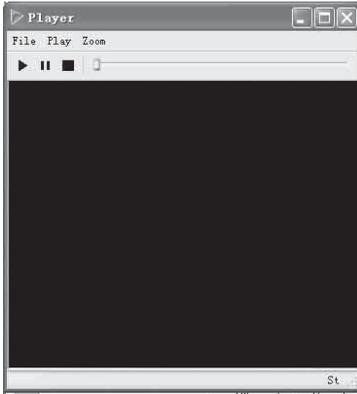
ご注意

「録画設定」>「録画設定...」>「保存パス」>「デフォルトパス」を選択して、ビデオの保存パスのデフォルトを設定できます。

録画時に、 をクリックして録画を一時停止したり、また  をクリックして録画を終了したりできます。

ビデオプレーヤー

 をクリックします。「プレーヤー」ウィンドウが開きます。「ファイルを実行」をクリックし、再生するファイルを選択します。



コンバーター

AVIをSWFに、AVIをWMV／FLVに、またSWFをEXEに各フォーマットを変換できます。

リソースパネル

「リソースパネル」には、「ページ」、「テンプレート」、「リソースライブラリ」、「ローカル」、および「教材プログラム作成パネル」があります。

ページ

「ページ」タブには、「リスト」モードと「タイトル」モードの2つのプレビューモードが用意されています。ページの名前を変えるには、ページサムネイルの下のタイトルをダブルクリックし、次に新しい名前を入力します。

テンプレート

「テンプレート」タブには、各種のテンプレートがcdfフォーマットで用意されています。右クリックメニューで、削除、新規フォルダーの作成、ファイルまたはフォルダーのインポート、およびテンプレート用のフォルダーのエクスポートも可能です。テンプレートを開くには、ホワイトボードに挿入したいテンプレートのサムネイルをプレビューエリアで選択し、そのページでクリックします（テンプレートをそのページにドラッグすることもできます）。関連するテンプレートが次のページに挿入されます。

リソースライブラリ

リソースタブには、プレゼンテーションで使う写真やマルチメディアの大量のリソースが用意されています。作成したオブジェクトを「リソースライブラリ」に保存することもできます。写真やマルチメディアのリソースをホワイトボードのページに追加するには、3つの方法があります。

- 1 リソースのサムネイルを選択してページをクリックすると、そのリソースがページに挿入されます。
- 2 リソースのサムネイルを選択して矩形をホワイトボードのページにドラッグすると、矩形のサイズに応じて、そのリソースが表示されます。オブジェクトのドラッグ時に、「Shift」キーを押して、アスペクト比を保持できます。
- 3 リソースのサムネイルを選択して、ページにドラッグすると、そのリソースがページに挿入されます。

ページに挿入するフラッシュやビデオにコメントを付けることができます。コメントの入力時、フラッシュやビデオは一時停止します。フラッシュやビデオの再生を再開すると、コメントは次のレイヤーに移動します。

ローカル

「ローカル」タブを使って、パソコン内のEDF、BMP、EMF、WMF、TIF、JPG、GIF、PNG、CDF、SWF、AVI、WMV、ASF、DAT、MPG、MPEG、RM、RMVB、MOV、FLVの各ファイルを、ホワイトボードのページに追加できます。これ以外のフォーマットのファイルの場合は、サムネイルをダブルクリックしてファイルを開きます。ファイルをオブジェクトとしてページに挿入するには、プレビューエリアで関連するファイルを選択し、そのページでクリックするか、またはファイルをそのページにドラッグします。

教材プログラム作成パネル (プロジェクターではなく、パソコン上で の操作です)

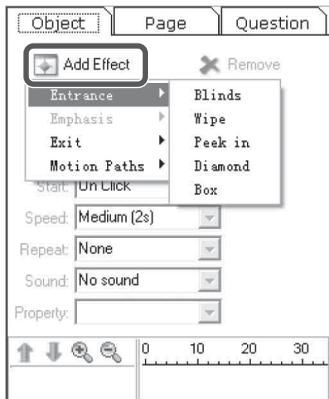
「教材プログラム作成パネル」上で、「オブジェクト」、「ページ」、および「タスク設定」のアニメーション効果を、教材に追加できます。

オブジェクトの効果

ページ内の任意のオブジェクトに対し、効果を設定できます。

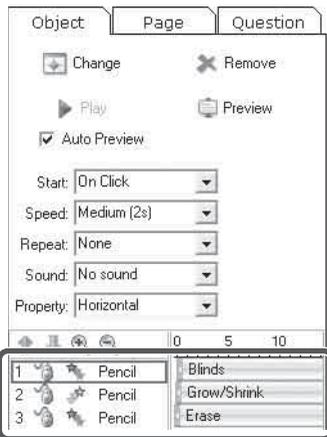
- 効果の追加

現在のページの1つまたは複数の選択したオブジェクトに対して、「入る」、「強調」、「終了」、「動作パス」の4種類のアニメーションを追加できます。オブジェクトの効果を追加するには、1つまたは複数のオブジェクトを選択し、「効果追加」をクリックし、次にドロップダウンメニューで効果のタイプを選択します。効果の追加後、それらの効果は「効果」リストに順番に表示されます。

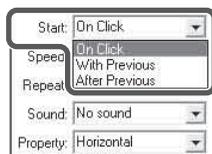


- 効果の設定

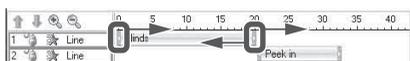
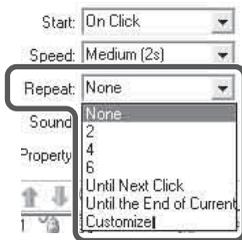
現在選択されている効果をカスタマイズできます。



効果の再生モードをカスタマイズできます。システムには、「クリック時(デフォルト)」、「その前」、および「その後」の3つの方法が用意されています。



効果のスピードをドロップダウンメニューでカスタマイズできます。効果のタイムラインの長さを増減して、スピードを調整することもできます。システムにはいろいろな種類の繰り返し回数が用意されています。



システムには20種類以上のサウンド効果が用意されています。



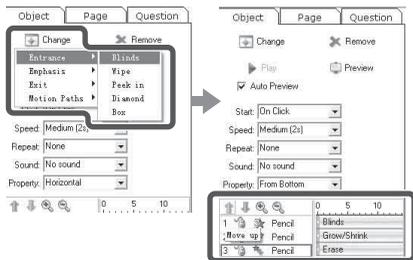
属性のドロップダウンメニューは、アニメーション効果の違いに応じて変化します。属性の値を調節して、再生効果を変更できます。



- 効果の編集

アニメーションの効果を変更し、再生の順番を変更できます。効果を変更するには、変更したいオブジェクトを選択して「アニメーション変更」をクリックし、次にドロップダウンメニューで適切なアニメーション効果を選択します。

再生の順番を変更するには、「アニメーション」のリストからオブジェクトを選択し、「上へ移動」↑ または「下へ移動」↓ をクリックします。



- 効果の削除

不要になったオブジェクトの効果は、「アニメーション」リストから削除できます。削除したいアニメーションを選択し、「効果削除」をクリックします。

ご注意

- ・ オブジェクトを削除するとき、そのオブジェクトに追加されたすべての効果が自動的に削除されます。
- ・ 「Shift」キーを押して、複数のアニメーションを同時に削除できます。

- 現在のプレビュー

選択したオブジェクトの効果を、プレビューできます。プレビューしたいオブジェクトを選択し、「現在のプレビュー」をクリックします。効果のプレビューが終わると、ソフトウェアはプレビューを自動的に停止します。

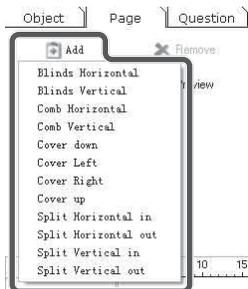
- プレビューの再生

この機能では、現在のページからオブジェクトのすべての効果をプレビューすることができます。

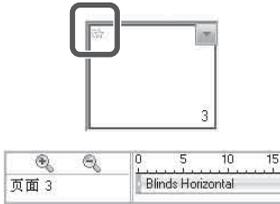
ページ効果

- ページ効果の追加

効果をページに追加するには、「ページ」をクリックし、関連する効果をドロップダウンメニューから選択します。



効果の追加後、それらの効果は「効果」リストに順番に表示され、ページサムネイルの左上隅に小さなアイコンが表示されます。

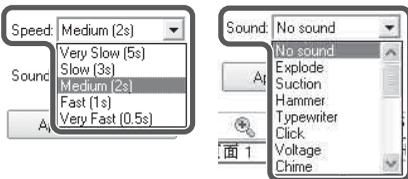


「すべてのページに適用する」をクリックします。他のすべてのページで、現在のページと同じ効果が共有されます。



- ページ効果のカスタム

「スピード」や「サウンド」の再生を含むページ効果をカスタマイズできます。カスタマイズしたいページの効果を選択し、お好みのスピードを「スピード」リストから選択します。効果のタイムラインの長さを増減して、再生スピードを調整することもできます。希望するサウンド効果を、「サウンド」リストから選択できます。



- ページ効果の変更

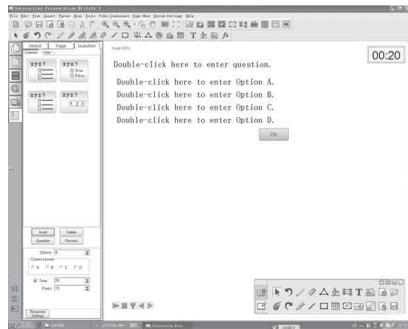
ページ効果を必要に応じて変更できます。「変更」をクリックし、変更したいページ効果を選択し、次にお好みのページ効果を選びます。

- ページ効果の削除

任意のページ効果を、必要なときに削除できます。削除したいページ効果を選択し、「効果削除」をクリックします。

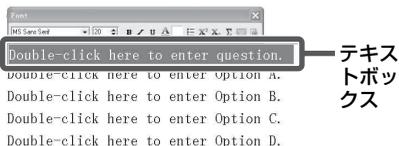
- 対話式クイズの追加

Interactive Presentation Utility 2には生徒の関心と参加を促す「シングルアンサー」、「正誤問題」、「多肢選択問題」、「空欄補充問題」、「投票問題」を含む「コモン問題」および「投票」タイプの問題をが用意されています。「タスク設定」パネルで、挿入したい質問タイプアイコンをクリックし、「挿入」をクリックします。選択した質問のタイプが、現在のページに表示されます。



- 質問の編集

挿入した対話式の質問を編集できます。「タイトル」または「オプション」のテキストボックスを起動するには、テキストボックスをダブルクリックするか、「テキスト」ツールとテキストボックスを順番にクリックするか、またはテキストボックスを選択し、「マーカーハンドル」の  をクリックします。



テキストボックスで質問を編集します。テキストボックスは、そのページの空き領域をクリックするだけで、終了します。タイトルまたはオプションのテキストボックスをドラッグして、その位置を変更できます。



- 質問のカスタム

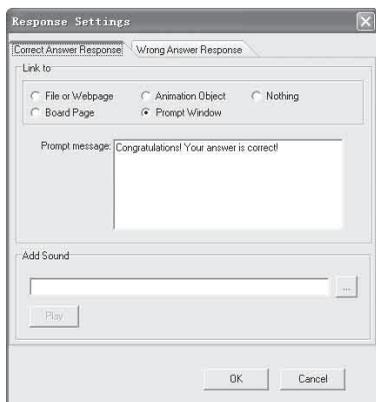
質問の属性を変更できます。

ご注意

「空欄補充問題」では、生徒は数学的な合計または等式の2つの部分で、回答を記入します。複数の正解を設定できます。たとえば、「 $1+1=2$ 」は、「1,1」、「0,2」、または「2,0」の答えが可能です。

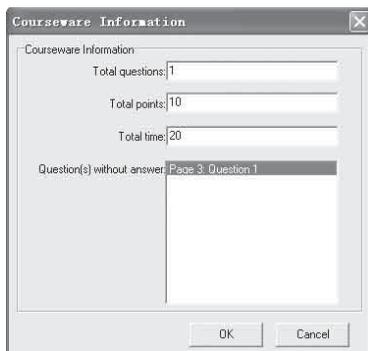
- 回答設定

正しい回答と間違った回答に対して、「リンク」と「サウンド」を追加できます。



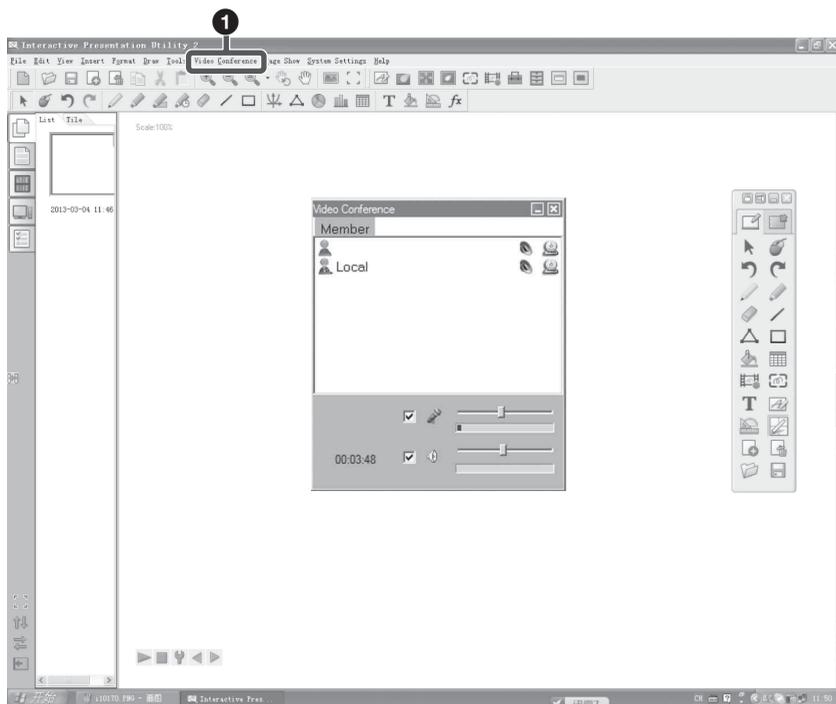
- コースウェア情報

質問の総数、合計得点、合計時間、および未回答の問題数をチェックできます。



ビデオ会議

Interactive Presentation Utility 2では、ホワイトボードモード時にPC接続のカメラを使うことで、ビデオ会議（VC）を簡便に行えます。自分や相手の姿を表示することができ、長距離での講義が簡単に行えます。



① ビデオ会議

- 会議作成

VC ホストになります。

- 会議参加

IP アドレスによって他の所に接続できます。

で注意

参加者は VC ホストによるコメントを閲覧できますが、コメントを書き込むことはできません。

- 会議終了

Mac の場合

動作環境

- ・ CPU : Pertium III 以上
- ・ メモリー : 256MB 以上 (512MB を推奨)
- ・ ハードディスクの空き容量 : 250MB
- ・ 対応 OS : Mac OS X 10.6.x/10.7.x/10.8.x/10.9.x/10.10.x

ご注意

- ・ プロジェクターを接続していない状態のとき、このソフトウェアの使用制限回数は 30 回です。プロジェクターを接続すると、制限回数は 30 回にリセットされます。
- ・ 拡張ディスプレイモードでは、キャリブレーションを行うことができません。
- ・ Interactive Presentation Utility 2 の注釈機能は、Power Point または Keynote では使用できません。インタラクティブペンデバイスのマウス機能 (メインのみ) を使用して Power Point で注釈をつけたい場合は、ペンボタンを押しながら、Power Point のポップアップツールバーを表示させます。その中の「インク機能」を選択してください。

特長

- ・ キャリブレーション (自動)
- ・ デュアルユーザー (デュアルペン)
- ・ スクリーンキャプチャー (全画面 / 部分画面) とスクリーン録画
- ・ オブジェクトの描画編集
- ・ ホッピングツール
- ・ 調整可能な浮動ツールバー
- ・ 多彩な教育ツール (2D と 3D の図形、定規、グラフ)
- ・ 強化されたサイドツールバー
- ・ アニメーション



① 最小化

浮動ツールバーを最小化します。

② ロック／ロック解除

③ ホワイトボード／デスクトップタブ

タブをクリックして、ホワイトボードモードとデスクトップモードを切り替えます。

④ Windows の操作

コメントモード以外の時は、マウスを使って通常のパソコン操作を行うことができます。コメントモードでは、浮動ツールバーのアイコンをクリックして通常のパソコン操作を行うこともできます。

⑤ ホッピングツール

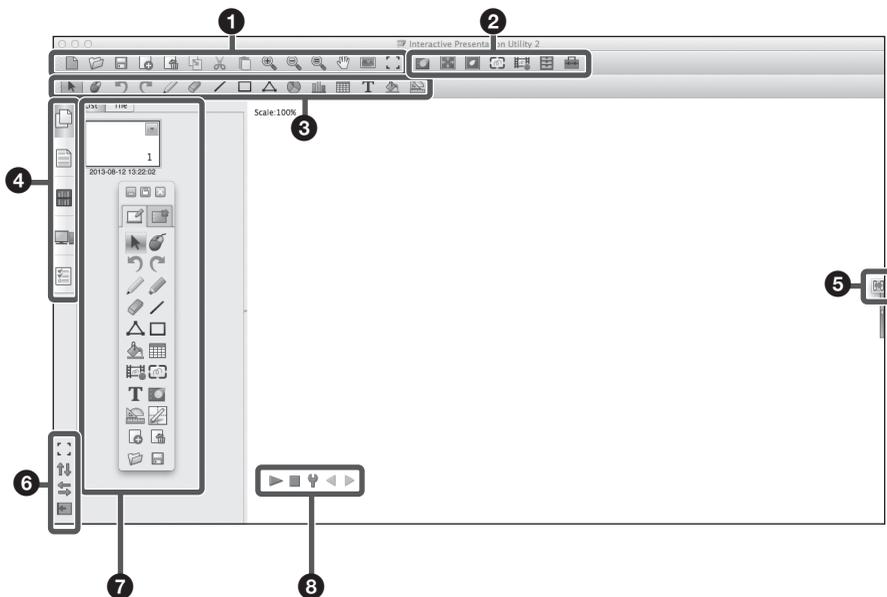
浮動ツールバーの位置を切り替える

浮動ツールバーがどこにあっても、位置を切り替える矢印が反対側に表示されます。この矢印をクリックすると、浮動ツールバーを反対側に移動します。この機能によって、大画面でも浮動ツールバーに簡単にアクセスできます。

浮動ツールバーをドッキングする

浮動ツールバーをスクリーンのいずれかの端に移動すると、自動的に非表示になります。浮動ツールバーを再表示するには、浮動ツールバーをドッキングした端にカーソルを移動するか、またはアイコンをクリックします。

ホワイトボードモード



- ① コモンツールバー
- ② サイドツールバー
- ③ 描画ツールバー
- ④ リソースパネル
- ⑤ ホッピングツール (41 ページ)
- ⑥ フルスクリーン／ツールバーの移動 (ツールバーを上下に移動する) / リソースパネルの移動 (リソースパネルを移動する) / 隠す
- ⑦ プレビュー
- ⑧ コメントの記録 (操作をもう一度みる)
再生 / 停止 / 設定 / 前のページ / 次のページ

デュアルユーザー（デュアルペン）

メインペンツールバー（浮動ツールバー）



- ・メインペンツールバーは Interactive Presentation Utility 2 を起動したときに表示されます。
- ・カスタマイズする場合は、「Interactive_Presentation_Utility_2」>「環境設定…」>「ツールバー」>「浮動ツールバー」をクリックします。
- ・起動していない機能は、デスクトップモードでは灰色で表示されます。
- ・ をクリックすると、浮動ツールバーの位置が移動します。

ご注意

メインペン専用です。

サブペンツールバー



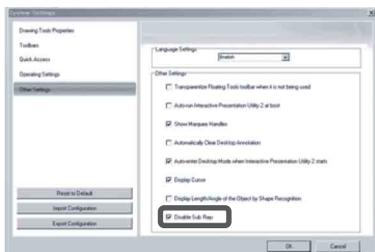
- ・サブペンのボタンを押すと、サブペンツールバーが表示されます。

ご注意

- ・サブペン専用です。
- ・サブペンツールバーはカスタマイズできません。

サブペンを無効にする

「環境設定…」から「その他」を選び、「Disable sub pen」を選択すると、メインペンのみを有効にできます。



キャリブレーション (自動/手動)

キャリブレーションは、ペン（メイン、サブ）で指した点と、プロジェクター画面上のカーソルがある点の位置をそろえます。

「キャリブレーション (自動)」では、キャリブレーションを自動的に実行できます。

メインペンのツールバー



- ① キャリブレーション (自動)
- ② キャリブレーション (メイン)
- ③ キャリブレーション (サブ)
- ④ キャリブレーションデータ保存

「キャリブレーション」をクリックし、「キャリブレーション (自動)」を選びます。キャリブレーションが自動的に開始されます。

で注意

キャリブレーションの実行中は、以下の注意事項を守ってください。

- ・ プロジェクター本体の受光窓とスクリーンの間に物などを置かないでください。
- ・ プロジェクターやスクリーンを動かさないでください。

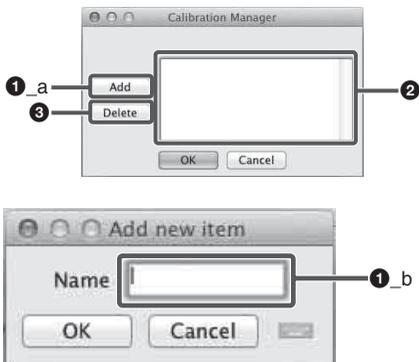
キャリブレーション (自動) が正しく動作しないときは、以下の内容に従って対処してください。

- ・ 強い光や外光がスクリーンに直接当たらないようにしてください。
- ・ 周囲を少し暗くした状態で、キャリブレーション (自動) を実行してください。
- ・ 周囲を少し暗くした状態でもキャリブレーション (自動) が正しく動作しない場合、「キャリブレーション (メイン)」 / 「キャリブレーション (サブ)」をクリックし、手動で調整してください。
- ・ 白色ではないスクリーンを使用した場合、キャリブレーション (自動) が実行できないおそれがあります。

キャリブレーションデータ保存



複数の設置条件に対応したキャリブレーションデータを保存することができます。該当するデータを取り出すことで目的の設置条件でインタラクティブ機能を使用することができます。



1 保存する（名前を付ける／上書きする）

 ボタンを押すとキャリブレーションデータのリストが表示されます。Add ボタンを押すと現在使用しているキャリブレーションデータの名称を設定し、保存することができます。保存されたデータはリストの中に追加されます。

2 保存データを指定して使用する

リストから必要なキャリブレーションデータを選択し、OK ボタンを押すと適用されます。

3 保存データを指定して削除する

不要なキャリブレーションデータをリストから選択し、Delete ボタンを押すと削除されます。

ペン反応速度調整

インタラクティブペンの反応速度の調整ができます。描画線の振動が気になる場合は、設定を「遅い」方に調整してください。ただし設定を「遅い」にした場合、速い描画動作への追従性が低下します。「Auto」に設定した場合、描画動作のスピードにあわせて、追従性を自動的に調整します。



ペン検出感度調整

インタラクティブペンを使用するとき、部屋が明るすぎる場合、ペンの位置が検知できないため、誤動作する可能性があります。この機能により、ペン検出感度を調整し、システムをそのときの部屋の明るさに最適化します。

インタラクティブペンを使用中は、下記の環境では、ペンが描けなくなったり、線が途切れるなどの症状が発生することがあります。その場合、本機能ボタンを押すと、症状が改善します。

- ・ 明るい照明を使っている、または太陽光が射し込んでおり、環境全体が明るい場合。
- ・ 明るい照明、または太陽光がスクリーンに直接照射している場合。

ご注意

調整中に画面全体が黒くなりますが、操作しないでしばらくお待ちください。

ファイル管理

新規作成

新しいファイルを作成します。

開く

.cdf、.iwb、.pdfの拡張子を持つファイルを開くことができます。

閉じる

メニューバーで「ファイル」をクリックし、「閉じる」を選択して、現在のファイルを閉じます。

保存／名前を付けて保存

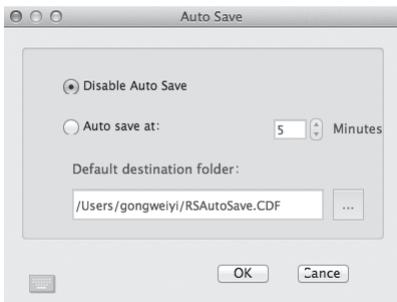
.bmp、.iwb、.pdf、.jpg、.html、.png、.cdfを含む任意の書式で、現在のファイルを保存できます。現在の時刻でファイル名が自動的に付けられます。

テンプレートとして保存

現在のファイルのレイアウトをこれから何度も使用する場合は、そのファイルをテンプレートとして保存しておく、必要なときに「テンプレート」タブから読み込むことができます。メニューバーで「ファイル」をクリックし、「テンプレートとして保存」を選択して、現在のファイルをテンプレートとして保存します。

自動保存

「自動保存」機能は、予期しない問題が起こった場合に、データの喪失を最小限におさえることができます。メニューバーで「ファイル」をクリックし、「自動保存」を選択して、自動保存機能について設定します。



印刷

Interactive Presentation Utility 2 で作成したファイルを印刷できます。「ファイル」をクリックし、「印刷設定」を選択してプリンターを設定します。次に「印刷」または「現在のページを印刷」をクリックして、必要なページを印刷します。

ページ管理

新しいページを追加

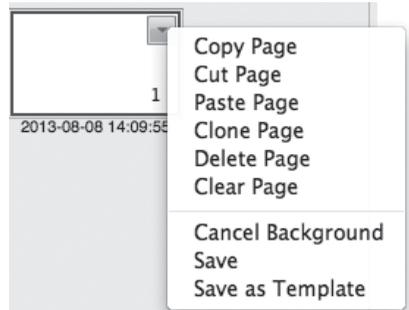
現在のページの後に、空白ページを挿入します。

ページを削除

現在のページを削除します。

コピー／切り取り／貼り付け

コピー／切り取り／貼り付けをしたいページのサムネイルを、「ページ」タブで選択します。

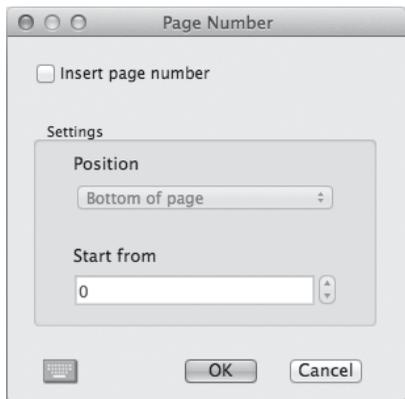


クローン

ページサムネイルでメニューの矢印をクリックして「ページのクローン」を選択するか、またはページサムネイルで右クリックして「ページのクローン」を選択します。クローンのページは、現在のページの後にすぐ表示されます。

ページ番号の挿入

メニューバーで「挿入」をクリックし、「ページ番号の挿入」を選択します。その後に表示される「ページ番号の挿入」ウィンドウで、ページ番号の挿入位置と開始ページの番号を設定できます。



ズーム

初期設定では、ホワイトボードの各ページが実際のサイズで表示されます。ズームツールを使って、ホワイトボードのページのサイズを拡大または縮小することもできます。

- 拡大 / 縮小

マウスポインタを拡大鏡にした後、ページをクリックすると拡大または縮小します。

- ページ復元

ページを100%のサイズに戻します。

- 画面サイズに合わせる

ページ全体を、画面のサイズに合わせます。

ページを移動

ホワイトボードのページは無限に拡張できます。ページを移動してスペースを広げたり、ページの任意の部分をスクリーンに表示することができます。

ページの背景を挿入する

単一色、グラデーション、グリッドパターン、またはイメージ (.jpg、.jpeg、.png、.bmp) をページの背景として指定できます。



その他の管理ツール

カスタムアプリケーション

外部のプログラムやファイルにすばやくアクセスできます。「カスタムアプリケーション」にアクセスするには、メニューバーで「カスタムアプリケーション」をクリックするか、またはツールバーでアイコンをクリックします。すると「アプリケーション」ツールバーが表示されます（初期設定ではSafariが表示されます）。



「アプリケーション」ツールバーでショートカットアイコンをクリックして、外部のプログラムやファイルを直接開くことができます。また、... をクリックしてアプリケーションを追加または削除できます。

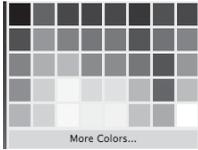
ペン類

「ペン類」は最もよく使用されるツールで、インタラクティブ画面にコメントを付けたり、文字を書いたり、図を描いたりできます。「ペン類」には、「鉛筆」、「筆」が含まれています。

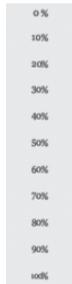
色、幅、透明度

任意の色、幅、または透明度のボタンをダブルクリックするか、または各セクションのメニューの矢印をクリックして調整します。

色



透明度



幅



線のスタイル



塗りつぶし (グラデーション)



線の種類

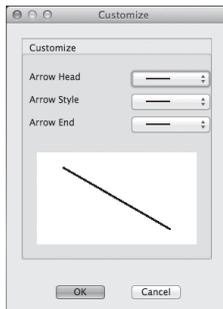
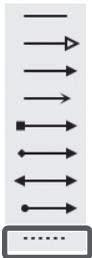


ロック

描画時に、「サブペン」ツールバーをスクリーン上で固定します。

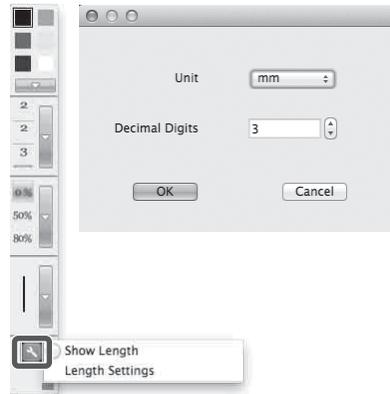
線の種類

「線」セクションのメニューの矢印をクリックし、希望する線のスタイルをリストから選択します。「線の種類」を「カスタム線」ウィンドウから選択することもできます。



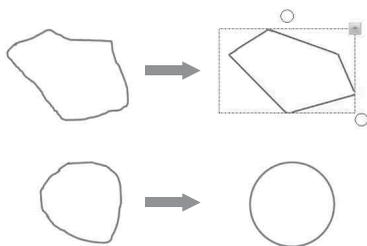
長さを表示

ホワイトボードのページに線を追加するときに、線の長さを表示できます。をクリックし、「長さを表示」を選択します。また単位や、小数点以下の桁数を、「長さ設定 ...」で設定することもできます。



図形識別

「鉛筆」ツール  も、「図形識別」機能を持っています。この機能を有効にすると、「鉛筆」ツールで描いたストロークが自動的に「線」、「円弧」、「円形」、「矩形」、「三角形」または「多角形」になり、また隣接する線が自動的に組み合わされて多角形を形成します。「鉛筆」ツールのアイコンをクリックして、「属性」ツールバーを表示します。次に  をクリックして、「図形識別」機能を起動します。形を選択してそのポイントを表示し、形を変えるポイントをクリックしてドラッグします。

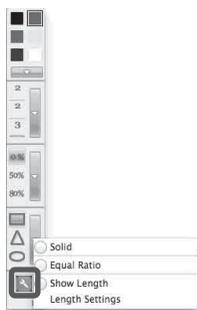
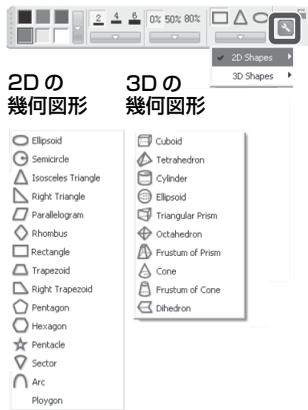


幾何図形

いろいろな種類の2Dと3Dの幾何図形が用意されています。「幾何図形」ツールの属性をカスタマイズできます。

幾何図形の形

「幾何図形」ツールの「属性」ツールバーには、初期設定で「矩形」、「三角形」および「円形」の3つの形のボタンが用意されています。その他の形を追加するには、お好みの形のボタンをダブルクリックするか、または「形」セクションのメニューの矢印をクリックします。



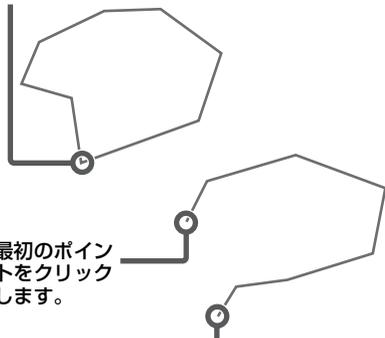
その他

「属性」ツールバーの「Interactive_Presentation_Utility_2」>「環境設定…」をクリックして、その他の設定を適用します。

ポイント ツー ポイント

このツールで、「多角形」や「カギ線」を作成できます。多角形やカギ線を作成するには、そのアイコンをクリックし、多角形またはカギ線を作成する別のポイントをクリックします。最後のポイントをダブルクリックすると、多角形またはカギ線の作成が終了します。また最後のポイントに最初のポイントを重ねて、形を作ることができます。すべてのポイントは削除できます。ポイント ツー ポイントツールは、カスタマイズすることもできます。

最後のポイントを最初のポイントに重ねます。

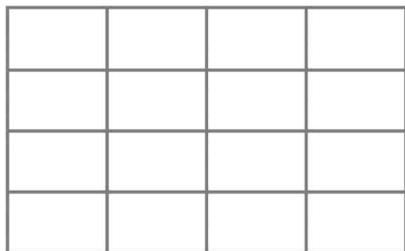


最初のポイントをクリックします。

最後のポイントをダブルクリックします。

表

表を作成するとき、「属性」ツールバーで、「枠線色」、「幅」、「透明度」、「行数」、「列数」を設定できます。次に、表を配置したいスクリーン上の場所をクリックし、お好みのサイズになるまでドラッグして、表を作成することができます。



行数と列数

行数と列数を1～20の範囲で選択できます。数値を直接入力するか、または矢印ボタンで数値を変更します。



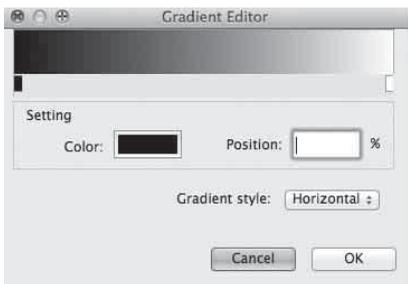
塗りつぶし

任意の幾何図形を、「色」、「塗りつぶし (グラデーション)」、「塗りつぶし (斜線格子)」、または「塗りつぶし (図) (jpg、jpeg、.bmp、.png)」で塗りつぶすことができます。



グラデーションのある塗りつぶし

6つのグラデーションが、初期設定で用意されています。他のグラデーションを使用するには、お好みのグラデーションの塗りつぶしボタンをダブルクリックするか、またはメニューの矢印をクリックして、「グラデーション編集」でグラデーションを設定します。新しいグラデーションを追加する場合は、グラデーションバーの下をクリックして、グラデーションの終了色を定義します。グラデーションの方向を定義することもできます。



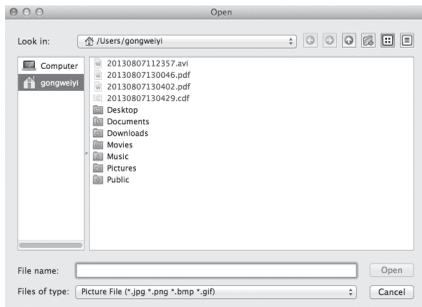
パターンによる塗りつぶし

6つのパターンが、初期設定で用意されています。他のパターンを用いるには、お好みのパターンの塗りつぶしボタンをダブルクリックするか、またはメニューの矢印をクリックして、前景色と背景色を設定します。



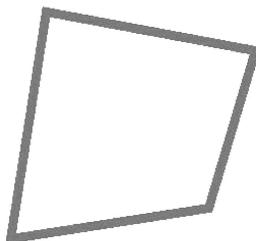
イメージによる塗りつぶし

イメージの塗りつぶしボタンをダブルクリックするか、またはメニューの矢印をクリックして、塗りつぶしに使うイメージを選択します。



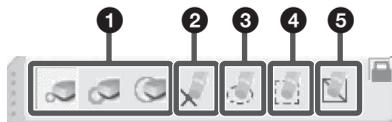
塗りつぶし効果を削除する

「属性」ツールバーの  をクリックし、幾何図形をクリックします。塗りつぶし効果は削除されます。



消しゴム

「丸形消しゴム (小)」、「丸形消しゴム (中)」、「丸形消しゴム (大)」、「オブジェクト消去」、「円形範囲消去」、「矩形範囲消去」、および「すべてを消去」を含む5つの消去方法が用意されています。



① 消しゴム (小/中/大)

② オブジェクト消去

アイコンを選択し、オブジェクトをクリックして消去します。

③ 円形範囲消去

アイコンを選択し、オブジェクト（複数可）を囲む円を描いて消去します。

④ 矩形範囲消去

アイコンを選択し、オブジェクト（複数可）を囲む矩形をドラッグして消去します。

⑤ すべてを消去

アイコンを選択し、ページをクリックして、そのページのすべてのオブジェクトを消去します。

「幾何図形」または「ポイント ツール」で作成したオブジェクトは、「オブジェクト消去」または「すべてを消去」によってのみ消去できます。この場合、「円形範囲消去」や「矩形範囲消去」は使用できません。

テキスト T

アイコンを選択し、ページ内のテキストを開始したい位置でクリックします。「テキスト」ボックスと「フォント」ツールバーが表示されます。



テキストボックス

文字を入力

「スクリーンキーボード」 を使って、文字を入力できます。テキストを、.txt ファイルから「テキスト」ボックスにインポートすることもできます。

テキストの書式変更

「フォント」、「太字」、「斜体」、「下線」、「色」、その他を含むテキストの書式を、必要に応じて「フォント」ツールバーで変更します。

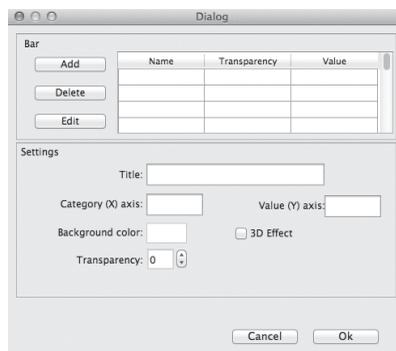
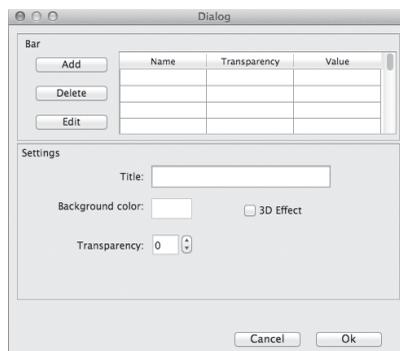
テキスト編集

選択したテキストを右クリックして、コピー、切り取り、貼り付け、削除、すべて選択、または元に戻す操作を行います。ペン先（メインのみ）を長押しするか、または  をクリックすると、右クリックの操作ができます。



円グラフとバーグラフ

ボタンを選択し、円グラフまたはバーグラフを表示したい場所をスクリーン上でクリックします。



上記の設定ウィンドウで、グラフの「名前」、「値」、「透明度」を設定できます。その他の設定は、以下のようになります：

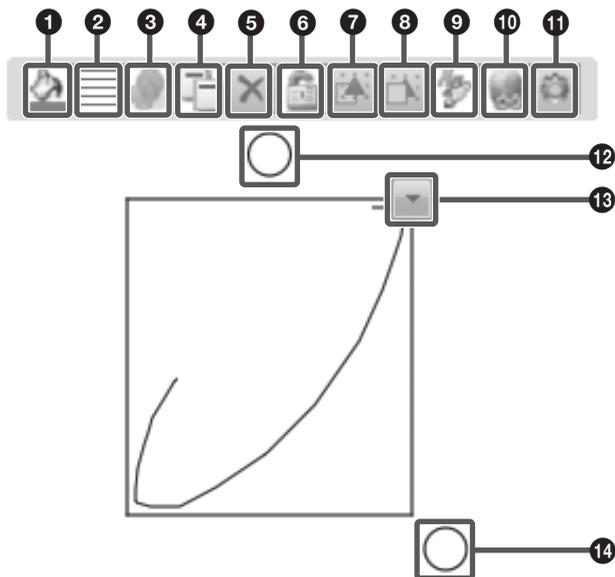
円グラフ：「タイトル」、「背景色」、「透明度」、「3D 効果表示」、および「円グラフタイプ」を設定できます。

バーグラフ：「タイトル」、「分類 (X) 軸」、「値 (Y) 軸」、「背景色」、「透明度」、「3D 効果表示」、および「棒グラフタイプ」を設定できます。

オブジェクトの操作

マーキーハンドル

選択中のオブジェクトに応じて、よく使用される編集ツールがマーキーハンドルに表示されます。これらのツールを選んで、オブジェクトを編集できます。



- | | |
|-------------|-------------|
| ① 色 | ⑧ 背面へ移動 |
| ② 幅 | ⑨ 筆順表示 |
| ③ 透明度 | ⑩ ハイパーリンク |
| ④ クローン | ⑪ 設定 |
| ⑤ 削除 | ⑫ 回転 |
| ⑥ ロック／ロック解除 | ⑬ 右クリックメニュー |
| ⑦ 前面へ移動 | ⑭ 拡大率 |

その他の機能

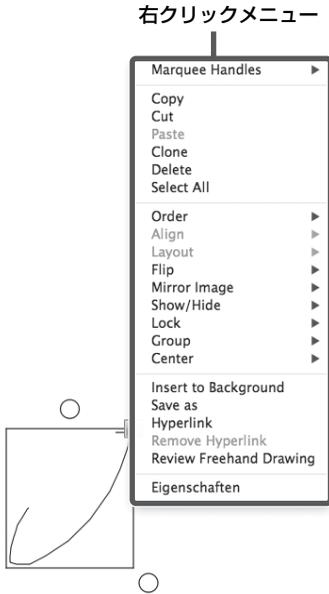
  グループ化／グループ化解除

 テキスト入力

右クリックメニュー

コピー、切り取り、貼り付け、クローン

ページ内の任意のオブジェクトをコピー、切り取り、またはクローンを作成でき、またそれを同じページまたは異なるページに貼り付けることができます。



削除

1つ以上の選択したオブジェクトを削除します。

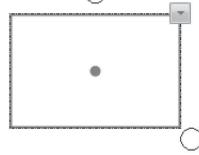
全てを選択

ページ内のオブジェクトをすべて選択します。

オブジェクトの回転

オブジェクトを選択すると、そのオブジェクトの周囲に矩形が表示されます。また、矩形の上に回転ハンドルがあります。初期設定では、オブジェクトはその中心点の周りを回転します。中心点をドラッグして、別の基点を定義できます。

ここをクリックしたまま動かして、オブジェクトを回転させます。

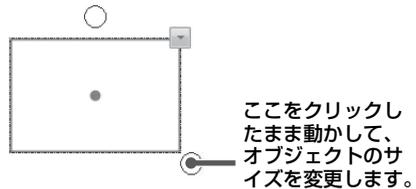


中心

オブジェクトの中心点を表示または非表示にできます。

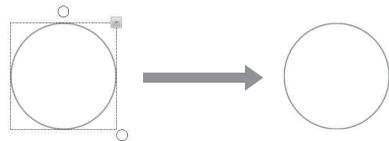
オブジェクトのズーム

1つ以上のオブジェクトを選択し、サイズ変更ハンドルをドラッグしてオブジェクトのサイズを変更できます。

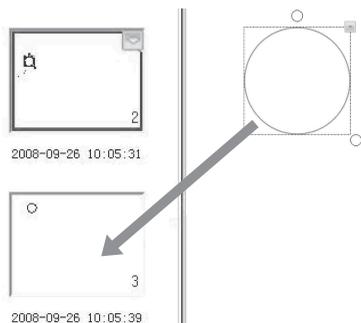


オブジェクトの移動

オブジェクトを同じページの別の位置に移動できます。オブジェクトを別のページにも移動できます。



オブジェクトを同じページの別の位置に移動するには、1つ以上のオブジェクトを選択し、そのページの移動先の位置にドラッグします。オブジェクトを別のページに移動するには、1つ以上のオブジェクトを選択し、「ページ」タブの別のページのサムネイルにドラッグします。



オブジェクトのグループ化（グループ化解除）

複数のオブジェクトをグループ化して、1つのオブジェクトのように操作または編集できます。

で注意

「数学関連ツール」、「関数ツール」、「円グラフ」、または「バーグラフ」はグループ化できません。

オブジェクトの順序

オブジェクトが重なる場合、それらの配置を変更できます。「最前面へ移動」、「最背面へ移動」、「前面へ移動」、または「背面へ移動」を選択します。

オブジェクトの整列

選択した複数のオブジェクトの下側、上側、左側／右側、または中心で揃えることができます。

オブジェクトのレイアウト

「自動レイアウト」と「カスタムレイアウト」を利用できます。

オブジェクトの鏡面コピー

「左反射」、「右反射」、「上反射」、または「下反射」を選択することで、鏡面コピーしたオブジェクトをすばやく挿入できます。

オブジェクトの表示／非表示

オブジェクトの表示または非表示を選ぶことができます。

コメントの挿入

Interactive Presentation Utility 2では、注釈やコメントをオブジェクトに追加できます。挿入したコメントは、再び編集したり削除したりできます。

オブジェクトの反転

オブジェクトを水平または垂直に反転できます。

背景の挿入

1つ以上の選択したオブジェクトを背景に挿入できます。背景に挿入したオブジェクトは、操作や編集ができません。

オブジェクトの保存

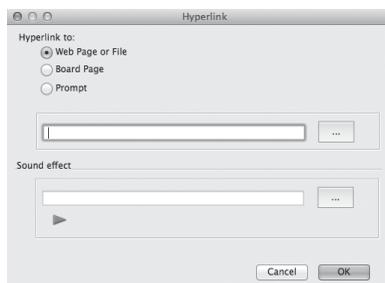
1つ以上のオブジェクトを、.bmp、.png、.gif、.jpg フォーマットのイメージファイルとして保存できます。

オブジェクトのロック

オブジェクトをロックして、変更、移動または回転ができないようにすることができます。オブジェクトはいつでもロック解除ができます。

オブジェクトへのハイパーリンクの追加

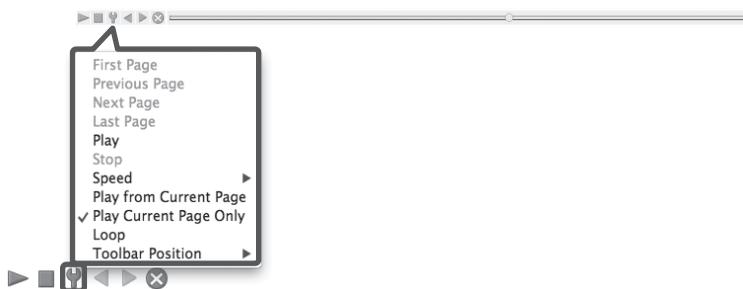
ホワイトボードのページの任意のオブジェクトを、Web ページまたはパソコンのファイルにハイパーリンクできます。選択したオブジェクトを右クリックし、「ハイパーリンク」を選択します。以下のような「ハイパーリンク」ウィンドウが表示されます：



オブジェクトを、ファイル、Web ページ、FTP、または Web サイトにハイパーリンクできます。ハイパーリンクの起動時に音響効果を加えたい場合は、「サウンド挿入」セクションでオーディオファイルを確認し、選択してください。「コーナーアイコン」をクリックするか、または「オブジェクト」自体をクリックすることでリンクを開くことができます。

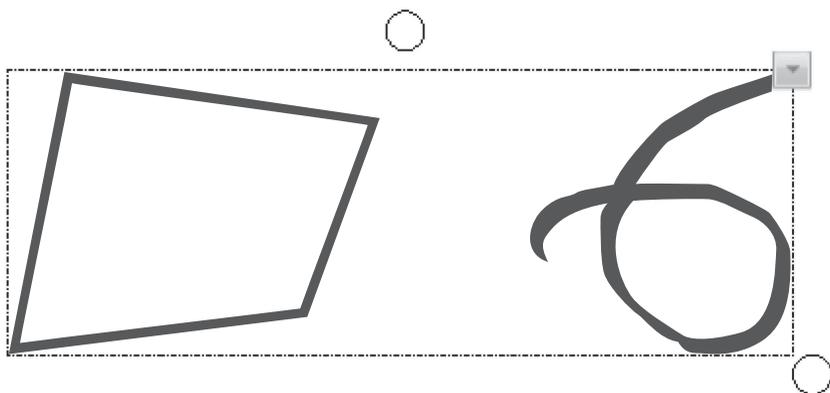
録画再生 (すべてのオブジェクト) ▶◀⏪⏩⏹⏸

オブジェクトを作成または操作しているとき、Interactive Presentation Utility 2では、ユーザーの操作内容を自動的に記録して、いつでも再生することができます。



筆順表示

(1本のペンによる操作のみを記録できます)

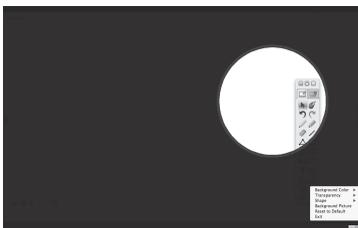


スクリーンツール

Interactive Presentation Utility 2には「スポットライト」、「リヴィールスクリーン」、「スクリーン矢印」、「ハイライト」、「ブラックスクリーン」を含む各種のスクリーンツールがあります。これらのツールは、「メニューバー」の「ツール」、「ツールバー」または「浮動ツールバー」からアクセスできます。

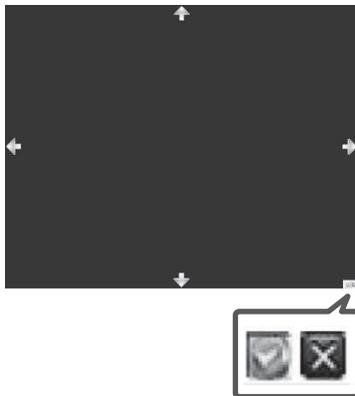
スポットライト

スポットライトの縁をドラッグして、ズームおよび移動できます。ハイライトされたエリアの下側のレイヤーを操作できます。スクリーン右下の  をクリックして、スポットライトの属性を調整できます。



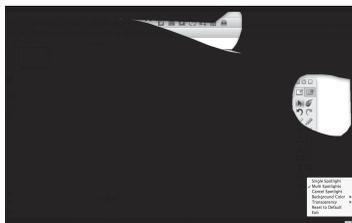
リヴィールスクリーン

「上下方向」、「左右方向」、「すべての方向」の3つのリヴィール方法が用意されています。カバーされていないエリアを操作できます。スクリーン右下の  をクリックして、「リヴィールスクリーン」機能の属性を調整できます。



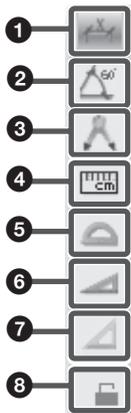
ハイライト

スクリーンの右下をクリックして、「背景色」や「透明度」などの「ハイライト」の属性を調整できます。「シングルスポットライト」または「マルチスポットライト」を選択して、ひとつまたは複数のエリアをハイライトすることもできます。



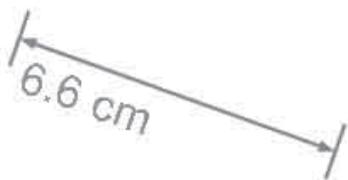
数学関連ツール

Interactive Presentation Utility 2には、「寸法表記」、「角度表記」、「コンパス」、「定規」、「分度器」、「直角三角定規」、「直角三角定規 (30、60、90)」を含む各種の「数学関連ツール」が用意されています。これらの数学関連ツールは、「メニューバー」の「ツール」、「ツールバー」または「浮動ツールバー」から  を選択して、アクセスできます。



1 寸法表記

「寸法表記」を使って、2つのポイント間の距離をコメントとして入力できます。寸法表記をページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、寸法の始点を決めてクリックし、次にカーソルを別のポイントに移動してクリックします。2つのポイント間の長さが自動的に表示されます。

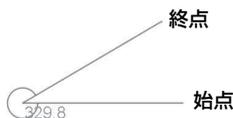
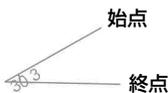


2 角度表記

「角度表記」ツールを使って角度を測定し、また角度を更新できます。角度表記をページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、頂点を決めてクリックし、次に角度の片側を決めてクリックし、カーソルを移動します。角度がページに表示されます。

ご注意

角度表記で表示された角度は、1番目の面を時計方向に回転させた2番目の面で作成されたものです。

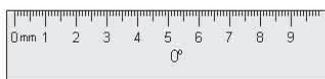


3 コンパス

「コンパス」ツールを使って、円弧や扇形を描くことができます。コンパスを動かすには、コンパスの頂部または左足をクリックし、コンパスを保持したまま次の位置に動かします。半径を変えるには、コンパスの右足をクリックし、コンパスを保持したまま右または左に水平に動かします。半径が、コンパスに表示されます。円弧または扇形を描くには、コンパスの描画ツールをクリックして保持し、回転させます。色、透明度、小数桁数、単位（ドロップダウンメニューには cm、mm、pix、inch が含まれています）などの属性は、右クリックメニューで変更できます。単位は手動でも入力できます。

4 定規

「定規」を使ってオブジェクトを測定したり、任意のサイズ（初期設定では 10 cm に設定されており、無限大に拡大できます）で線を描くことができます。定規をページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、定規の位置を決めてクリックします。定規がホワイトボードのページに表示されます。

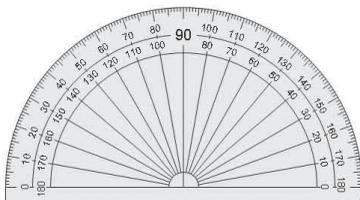


「線」ツールを使って、定規の目盛りに合わせて、選択した長さの直線を描くこともできます。定規を回転するとき、現在の回転角度が定規の中心に表示されます。

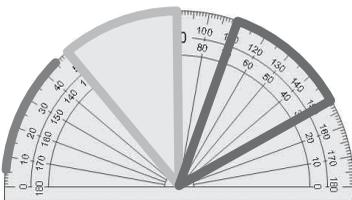


5 分度器

分度器をホワイトボードのページに追加できます。また分度器を使って角度を測定したり、選んだ角度の円弧を描くことができます。分度器をホワイトボードのページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、分度器の位置を決めてクリックします。分度器がそのページに表示されます。



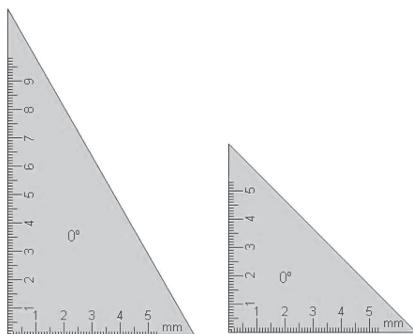
また右クリックメニューで「円弧」、「中空でない扇型」、または「中抜きの扇形」を選び、「線」ツールを使って、分度器の目盛りに合わせて、選択した形を描くことができます。



6 直角三角定規 (30、60、90)

「直角三角定規」と「直角三角定規 (30、60、90)」の2つの「直角三角形」ツールが用意されています。「直角三角形」をホワイトボードのページに追加するには、カーソルをそのページに移動し、直角三角形の位置を決めてクリックします。直角三角形がそのページに表示されます。

7 直角三角定規



直角三角定規 (30、60、90)

直角三角定規

「線」ツールを使って、直角三角形の目盛りに合わせて、直線を描くことができます。直角三角形を回転するとき、現在の回転角度が直角三角形の中心に表示されます。

8 ロック／ロック解除

特殊ツール

Interactive Presentation Utility 2には、「電卓」、「拡大鏡」、「スクリーンキーボード」を含むいくつかの便利なツールがあります。

電卓

Interactive Presentation Utility 2は、OSの電卓を呼び出すことができます。

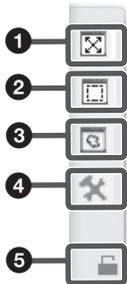
拡大鏡

「拡大鏡」で、スクリーンの各エリアを拡大できます。右クリックメニューで、形の拡大、拡大率、ウィンドウサイズなどの拡大鏡の「属性」を変更できます。

スクリーンキーボード

スクリーンキャプチャー

「スクリーンキャプチャー」機能を起動するには、「メニューバー」で「ツール」をクリックするか、「ツールバー」で  をクリックするか、または「浮動ツールバー」で  をクリックします。



1 フルスクリーン

このアイコンをクリックすると、スクリーン全体をキャプチャーします。

2 キャプチャー（矩形エリア）

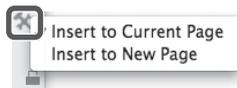
このアイコンをクリックし、次にカーソルを押しながらドラッグしてキャプチャーしたい矩形エリアを定義します。

3 キャプチャー（自由選択）

このアイコンをクリックし、次にカーソルを押しながらドラッグしてキャプチャーしたいエリアを自由に定義します。

4 設定

 をクリックして、キャプチャーしたスクリーンの挿入方法を選択することもできます。「現在のページに挿入」と「新しいページに挿入」が選択できます。



5 ロック／ロック解除

スクリーンの録画と再生

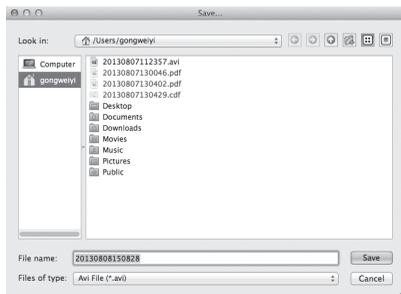
「スクリーン録画」機能を起動するには、「メニューバー」で「ツール」をクリックするか、「ツールバー」で  をクリックするか、または「浮動ツールバー」で  をクリックします。

スクリーン録画

スクリーンを録画するには、お好みの録画スタイルを「録画設定」から選択します。「ビデオ品質」も調整できます。動作ウィンドウのみの録画、または全体のスクリーン映像の録画を選ぶことができます。パソコンにマイクを接続して、録音することもできます。



 をクリックして、「名前を付けて保存」ウィンドウを開きます。

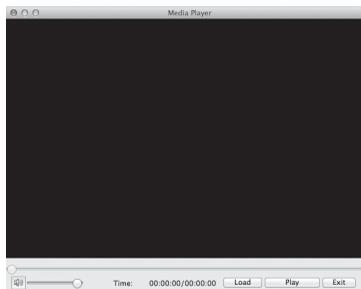


で注意

録画時に、 をクリックして録画を一時停止したり、また  をクリックして録画を終了したりできます。

ビデオプレーヤー

 をクリックします。「プレーヤー」ウィンドウが開きます。「ファイルを実行」をクリックし、再生するファイルを選択します。



コンバーター

AVI を SWF に変換できます。

リソースパネル

「リソースパネル」には、「ページ」、「テンプレート」、「リソースライブラリ」、「ローカル」、および「アニメーション」があります。

ページ

「ページ」タブには、「リスト」モードと「タイトル」モードの2つのプレビューモードが用意されています。ページの名前を変えるには、ページサムネイルの下のタイトルをダブルクリックし、次に新しい名前を入力します。

テンプレート

「テンプレート」タブには、各種のテンプレートがcdfフォーマットで用意されています。右クリックメニューで、削除、新規フォルダーの作成、ファイルまたはフォルダーのインポート、およびテンプレート用のフォルダーのエクスポートも可能です。テンプレートを開くには、ホワイトボードに挿入したいテンプレートのサムネイルをプレビューエリアで選択し、そのページでクリックします（テンプレートをそのページにドラッグすることもできます）。関連するテンプレートが次のページに挿入されます。

リソースライブラリ

リソースタブには、プレゼンテーションで使う写真やマルチメディアの大量のリソースが用意されています。作成したオブジェクトを「リソースライブラリ」に保存することもできます。写真やマルチメディアのリソースをホワイトボードのページに追加するには、3つの方法があります。

- 1 リソースのサムネイルを選択してページをクリックすると、そのリソースがページに挿入されます。
- 2 リソースのサムネイルを選択して矩形をホワイトボードのページにドラッグすると、矩形のサイズに応じて、そのリソースが表示されます。オブジェクトのドラッグ時に、「Shift」キーを押して、アスペクト比を保持できます。
- 3 リソースのサムネイルを選択して、ページにドラッグすると、そのリソースがページに挿入されます。

ページに挿入するフラッシュやビデオにコメントを付けることができます。コメントの入力時、フラッシュやビデオは一時停止します。フラッシュやビデオの再生を再開すると、コメントは次のレイヤーに移動します。

ローカル

「ローカル」タブを使って、パソコン内のEDF、BMP、EMF、WMF、TIF、JPG、GIF、PNG、CDF、SWF、AVI、WMV、ASF、DAT、MPG、MPEG、RM、RMVB、MOV、FLVの各ファイルを、ホワイトボードのページに追加できます。これ以外のフォーマットのファイルの場合は、サムネイルをダブルクリックしてファイルを開きます。ファイルをオブジェクトとしてページに挿入するには、プレビューエリアで関連するファイルを選択し、そのページでクリックするか、またはファイルをそのページにドラッグします。

アニメーション (プロジェクターではなく、パソコン上での操作です)

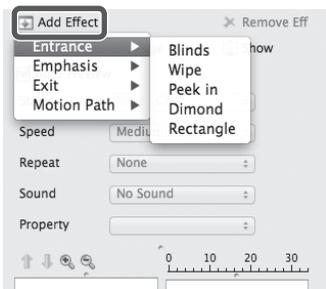
アニメーション上で、「オブジェクト」、「ページ」のアニメーション効果を、教材に追加できます。

オブジェクトの効果

ページ内の任意のオブジェクトに対し、効果を設定できます。

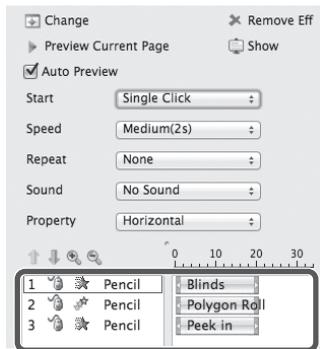
- 効果の追加

現在のページの1つまたは複数の選択したオブジェクトに対して、「入る」、「強調」、「終了」、「動作パス」の4種類のアニメーションを追加できます。オブジェクトの効果を追加するには、1つまたは複数のオブジェクトを選択し、「効果追加」をクリックし、次にドロップダウンメニューで効果のタイプを選択します。効果の追加後、それらの効果は「効果」リストに順番に表示されます。

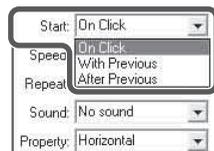


- 効果の設定

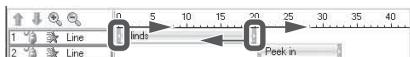
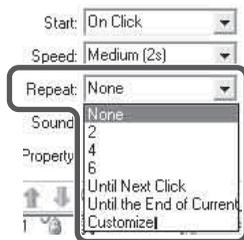
現在選択されている効果をカスタマイズできます。



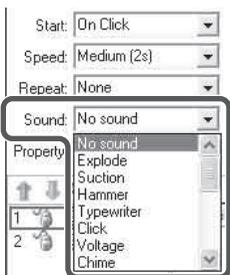
効果の再生モードをカスタマイズできます。システムには、「クリック時 (デフォルト)」、「その前」、および「その後」の3つの方法が用意されています。



効果のスピードをドロップダウンメニューでカスタマイズできます。効果のタイムラインの長さを増減して、スピードを調整することもできます。システムにはいろいろな種類の繰り返し回数が用意されています。



システムには20種類以上のサウンド効果が用意されています。



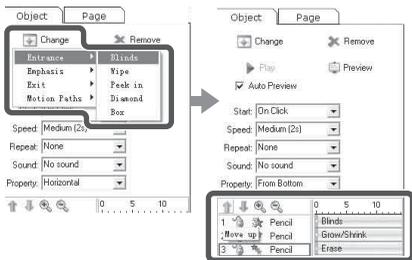
属性のドロップダウンメニューは、アニメーション効果の違いに応じて変化します。属性の値を調節して、再生効果を変更できます。



- 効果の編集

アニメーションの効果を変更し、再生の順番を変更できます。効果を変更するには、変更したいオブジェクトを選択して「アニメーション変更」をクリックし、次にドロップダウンメニューで適切なアニメーション効果を選択します。

再生の順番を変更するには、「アニメーション」のリストからオブジェクトを選択し、「上へ移動」↑または「下へ移動」↓をクリックします。



- 効果の削除

不要になったオブジェクトの効果は、「アニメーション」リストから削除できます。削除したいアニメーションを選択し、「効果削除」をクリックします。

ご注意

オブジェクトを削除するとき、そのオブジェクトに追加されたすべての効果が自動的に削除されます。

- 現在のプレビュー

選択したオブジェクトの効果をも、プレビューできます。プレビューしたいオブジェクトを選択し、「現在のプレビュー」をクリックします。効果のプレビューが終わると、ソフトウェアはプレビューを自動的に停止します。

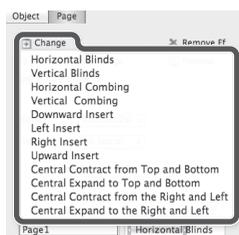
- プレビューの再生

この機能では、現在のページからオブジェクトのすべての効果をプレビューすることができます。

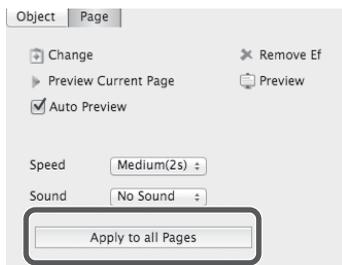
ページ効果

- ページ効果の追加

効果をページに追加するには、「アニメーション変更」をクリックし、関連する効果をドロップダウンメニューから選択します。

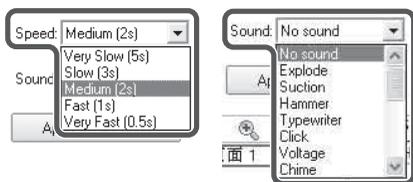


「すべてのページに適用する」をクリックします。他のすべてのページで、現在のページと同じ効果が共有されます。



- ページ効果のカスタム

「スピード」や「サウンド」の再生を含むページ効果をカスタマイズできます。カスタマイズしたいページの効果を選択し、お好みのスピードを「スピード」リストから選択します。効果のタイムラインの長さを増減して、再生スピードを調整することもできます。希望するサウンド効果を、「サウンド」リストから選択できます。



- ページ効果の変更

ページ効果を必要に応じて変更できます。「変更」をクリックし、変更したいページ効果を選択し、次にお好みのページ効果を選びます。

- ページ効果の削除

任意のページ効果を、必要なときに削除できます。削除したいページ効果を選択し、「効果削除」をクリックします。

